

# 市民福祉会館改修工事設計図

## (建築工事)

# 2階

図面リスト

図番	図面名称	縮尺	図番	図面名称	縮尺
-	表紙・図面リスト	-	8	2階平面図(改修後)	1/100
1	特記仕様書(改修)1/4	-	9	2階平面図(既設)	1/100
2	特記仕様書(改修)2/4	-	10	2階天井伏図(改修後)	1/100
3	特記仕様書(改修)3/4	-	11	2階建具表	1/100
4	特記仕様書(改修)4/4	-	12	展開図(2F-1)(改修後)	1/50
5-1	工事区分表1/2	-	13	展開図(2F-2)(改修後)	1/50
5-2	工事区分表2/2	-	14	展開図(2F-3)(改修後)	1/50
6	建物概要	-	15	雑詳細図(1F庇改修)	1/50
7	2階内部仕上表	-	16	矩計図(1)(参考図)	1/50

市民福祉会館改修工事 仕様書

I. 工事概要

- 1. 工事場所 三原市城町6番地
- 2. 敷地面積
- 3. 工事種目 福祉会館改修工事  
2階(階段室除く)

II. 建築工事仕様

1. 共通仕様

図面及び特記仕様に記載されていない事項は、建設大臣官庁営繕部監修「建築改修工事共通仕様書(平成10年版)」(以下「改修共仕」という)による。ただし、改修共仕に規定されている項目以外は建設大臣官庁営繕部監修「建築工事共通仕様書(平成9年版)」(以下「共仕」という)による。

2. 特記仕様

- (1) 項目は、番号に○印の付いたものを適用する
- (2) 特記事項は、○印の付いたものを適用する  
○印の付かない場合は、※印の付いたものを適用する  
○印と※印の付いた場合は、共に適用する
- (3) 項目に記載の [ ] 内表示番号は、改修共仕の当該項目、当該図及び当該表を示す。  
( ) 内表示番号は、共仕の当該項目、当該図及び当該表を示す。
- (4) 材料及び製造所等の記載は順不同である

章	項	目	特記事項
改修一般共通事項	①	適用基準等	※建築工事標準詳細図 建設大臣官庁営繕部監修(平成5年版)
	②	発生材の処理等 [1. 1. 13]	・引渡を要するもの( ) ・特別管理産業廃棄物( ) 処理方法( ) ・現場において再利用を図るもの( ) ○再生資源化を図るもの ○コンクリート塊 ・アスファルトコンクリート塊 ・建設発生木材 ○管理型の産業廃棄物(下記以外は関係法令等に従い適切に処理) ・炭石音ボード
	③	電気保安技術者 [1. 3. 3]	適用する
	④	施工条件 [1. 3. 5]	施工時間帯 ※指定なし ○指定有り 部位別の施工順序 ※指定なし ○指定有り
	⑤	工事安全計画書	建築工事安全施工技術指針及び建設公衆災害防止対策要綱を参考に、工事安全計画書を監督職員に提出する。
	⑥	建築材料等	本工事に使用する材料等は、設計図書に規定するもの又はこれらと同等のものとする。なお、「評価名簿による」と特記されたものについては、建設大臣官庁営繕部監修「建築材料・設備材料等品質性能評価事業建築材料等評価名簿(平成12年版)」によるほか、これらと同等のものとする。ただし、同等のものとする場合は、監督職員の承認を受ける。また、同上評価事業の評価を受けたものを使用する場合は、評価書の写しを監督職員に提出し、その確認をもって品質・性能の確認があったものとする事ができる。
	⑦	特別な材料の工法	改修共仕に記載されていない特別な材料の工法は、当該製品の指定工法による。
	⑧	施工数量調査 [1. 5. 2]	調査範囲 ※外壁(応共) ○図示 調査方法 ※テストハンマーによる打診及び目視
	⑨	破損部分の補修 [1. 5. 3]	外壁調査は、外壁改修フローに対応する外壁面のひび割れ、浮き、欠損部、内部まで貫通したひび割れ及び雨漏りの有無についての位置及び数量(幅、長さ、面積)の調査を行う。 また、その報告書は、結果を立面図等に記載し集計表を添えて監督職員に2部提出する(必要に応じ写真等を添付する) 補修方法 ※図示

技能士 [1. 6. 2]	技能検定の職種	適用種別
	防水改修工事(・防水施工 ・左官 ・建築板金)	・全て ・<
	外壁改修工事(・左官 ・タイル張り ・塗装 ・樹脂接着剤注入施工)	・全て ・<
	建具改修工事(・カッシー施工 ・ガラス施工)	・全て ・<
	内装改修工事(・内装仕上げ施工(床、天井仕上げ等) ・表装 ・内装仕上げ施工(鋼製下地) ・左官 ・建築大工 ・タイル張り)	・全て ・<
	塗装改修工事(・塗装)	・全て ・<
	耐震改修工事(・鉄筋工事 ・型枠施工 ・とび)	・全て ・<

完成写真	下記のものに監督職員に提出する
分類・規格	撮影箇所 部数 原画の大きさ(mm)
カラー ・キャビネ版	箇所 2部 ・100×125以上
(原紙共) ※サービズ版	10箇所 2部 ※24×36以上
・カラスライド	1部 24×36以上

完成写真等の撮影業者 ※監督職員の承諾する撮影業者 ・監督職員の承諾する者  
上記のほか、監督職員指示の箇所を24枚程度1本(カラー)で撮影し、カラースタック2部(原紙共)提出すること  
※完成図(作成範囲 ○完成図 ○平面図 ○柱上表)  
(作成方法 ※CAD (FD等共提出) )  
※保全に関する資料 (提出部数 ※1部 ・部)

③ 完成時の提出図書 [1. 8. 1~3]

④ 施工図及び施工計画書 提出した施工図及び施工計画書の著作権に係る当該建物に限る使用権は、発注者に委譲するものとする

⑤ 設備工事との取合い 施工区分(※工事区分表による) ・ 施工図 設備機器の位置、取り合い等が検討できる施工図を提出して、監督職員の承認を受ける

⑥ 撤去部分 コンクリート、モルタル等の撤去部分の項目は、原則としてダイヤモンドカッター切りとする

② ① 足場その他 [2. 2. 1] 内部足場の種別 ※脚立、足場板等  
外部足場の種別 ※A種 ・ B種 ・ C種 ・ D種  
外部足場の防護シート等による養生 ※行う ・ 行わない  
材料、撤去材等の運搬方法 ・ A種 ・ B種 ・ C種 ・ D種 ・ E種

② ② 既存部分の養生 [2. 3. 1] 養生方法 ※ビニルシート等による  
固定された家具(備品、机、ロッカー等)の移動 ○行う(図示)  
既存部分における既存家具等の養生 ※ビニルシート等による  
既存ブラインド、カーテン等の養生 養生方法 ※取外し再取付 ・ 保管場所 ※構内既存施設内 ・

③ 仮設間仕切り [2. 3. 2] ※A種 ○B種 ・ C種 B・C種の表面材 ※石膏ボード ・ 合板  
B・C種の片面への塗装等 ・ 行う ※行わない

4 監督職員事務所 [2. 4. 3] ・ 既存建物内の一部を使用する(場所) ・ 構内に新設する(・1号 ・ 2号 ・ 3号 ・ 4号 ・ 5号) ※設けない

⑤ ⑤ 工事用水 構内既存の施設 ※利用できる(※有償 ・ 無償) ・ 利用できない

⑥ ⑥ 工事用電力 構内既存の施設 ※利用できる(※有償 ・ 無償) ・ 利用できない

工法	新設防水層の種別	施工箇所	備考
・P1B工法	※B-2		
・P1BI工法	※B1-2		
・P2A工法	※A-2		
・P2AI工法	※A1-2		
・T1B1工法	※B1-2		
・POD工法	※D-3(改質アス)		
・M3D工法	※D-2		
・M4C工法	※C-2		

既存露出防水層表面の仕上げ塗装(M4C工法) ※除去する ・ 除去しない  
屋根保護防水断熱工法の断熱材  
材質 ※JIS A 9511の発泡ポリスチレンフォーム3種Bスキャン層付(特種フロンを含まないもの)  
厚さ ※25  
伸縮目地材 ※成形伸縮目地材 製造所 評価名簿による  
保護コンクリートの仕上げ ※直均し仕上げ  
防水立上り部の保護 ・ れんが  
・ 乾式保護材 製造所 評価名簿による

2 合成高分子系ルーフィングシート防水 [3. 1. 4] [3. 4. 3]

工法	新設防水層の種別	施工箇所	備考
・POS工法	※S-1		図示
・S3S工法	※S-1		
・M4S工法	※S-4		

屋根保護防水工法の防水層立上がり部の端部の処理方法・改修共仕 [3.1.4(d) (3) (4)] による  
・ 押え金物で押さえる  
屋根露出防水絶縁工法の断熱装置(M3D工法、POD工法)  
・ 設けない ※設ける 種類 ・ 平端部断熱型 立上がり部断熱型  
設置数量

工法	新設防水層の種別	施工箇所	備考
・POX工法	※X-1		
・L4X工法	※X-3		図示

3 塗膜防水 [3. 5. 3] 断熱装置 ・ 設けない ※設ける  
仕上塗料塗布(S-1、S-2の場合) ※シルバー ・ カラー

4 シーリング改修工法の種別 [3. 1. 4]

シーリング充填工法	シーリング再充填工法
・ シーリング充填工法	・ シーリング再充填工法
・ 広幅シーリング再充填工法	・ プリッジ工法

5 二重のり工法(POD工法 POS工法及びPOX工法) [3. 2. 5]

接着性試験 ※簡易接着性試験 ・ 引張接着性試験 ・ 行わない

6 シーリング用材料 [3. 6. 2]

種類及び施工箇所 図示以外は[表3.6.1]による

7 シーリングの試験 [3. 6. 8]

材質 ※配管用銅管 ・ 硬質塩化ビニル管  
鋼管製との防露 ※行う(施工箇所 ※[3.7.5]) ・ 行わない  
とい受け金物 ※市販品 [3.7.2]

8 9 ルーフドレン

製造所 評価名簿による

10 たてどいの床及び天井面の取り合い部

防露を行う場合 スパル(SUS104、厚さ0.2mm)で被覆する 高さ(mm) 床 ※150 ・ 防露を行わない場合 スパルはシーリングを取り付ける(床、天井共) 天井 ※30

11 アルミニウム製芝木 [3. 8. 2~3]

※押し出材 部材による種類 ・ 250形 ・ 350形 図示  
・ 曲げ材 材質 JIS H4000による  
厚さ(mm) ・ 20 形状は図示による  
表面処理 ※A-1種又はB-1種  
芝木の取付方法(曲げ材材の場合) ・ [3.8.2(b)]による

4 ① ひび割れ部改修工法 [4. 1. 4] [4. 3. 4~7]

※樹脂注入工法	ひび割れ幅(mm)	注入量(cc)
※自動式低圧エポキシ樹脂注入工法	0.3~1.0未満	70
・ 手動式エポキシ樹脂注入工法	0.5~1.0未満	130
・ 機械式エポキシ樹脂注入工法	1.0~21	170

注入材料 ※建築補修用注入エポキシ樹脂(JIS A6024)による低粘度形又は中粘度形  
・ 軟質エポキシ樹脂 製造所 評価名簿による

・ Uカットシーリング材充てん工法  
カット部充てん材  
※可とう性エポキシ樹脂 製造所 評価名簿による  
・ シーリング用材料 ※ポリウレタン  
ポリマーセメントモルタル充てん ※行う ・ 行わない

2 欠損部改修工法 [4. 1. 4] [4. 3. 7]

※充てん工法  
欠損部充てん材  
※ポリマーセメントモルタル 製造所 評価名簿による  
・ エポキシ樹脂モルタル 製造所 評価名簿による



4 1 2 外壁 塗り 仕上げ 工事	1	ひび割れ部改修工法 [4.1.4] [4.4.2] [4.4.5-6]	(下記以外は4-1コンクリート打放し仕上げ外壁による) ※モルタルを撤去して改修 (撤去後の補修は充てん工法による) ※樹脂注入工法 ・ Uカットシール材充てん工法 ・モルタルを撤去しないで改修 ※樹脂注入工法 ・ シール工法
	2	欠損部改修工法 [4.1.4] [4.4.3] [4.4.8]	充てん工法 (欠損部の面積が0.25㎡/箇所程度以下の場合) 充てん材の種類 ※ポリマーセメントモルタル ・ エポキシ樹脂モルタル ・モルタル塗替工法 吸水調整材 製造所 評価名簿による
	3	浮き部改修工法 [4.1.4] [4.4.4] [4.4.9-14]	アンカーピンニング部分エポキシ樹脂注入工法 ( ・ 注入口付 ) アンカーピンニング固定用樹脂材料 (アンカーピン共通) 建築補修用注入エポキシ樹脂 ( J I S A 6 0 2 4 ) による硬質形で高粘度形 注入口付アンカーピン用樹脂材料 (アンカーピン共通) 建築補修用注入エポキシ樹脂 ( J I S A 6 0 2 4 ) による硬質形で中粘度形及び高粘度形 ・アンカーピンニング全面エポキシ樹脂注入工法 ( ・ 注入口付 ) 注入材料 建築補修用注入エポキシ樹脂 ( J I S A 6 0 2 4 ) による硬質形で低粘度形又は中粘度形 ・アンカーピンニング全面ポリマーセメントスラリー注入工法 ( ・ 注入口付 ) 注入材料 ポリマーセメントスラリー 製造所 評価名簿による ・モルタル塗替工法 吸水調整材 製造所 評価名簿による

4 1 3 外壁 張り 仕上げ 工事	1	ひび割れ部改修工法 [4.1.4] [4.5.2] [4.5.5]	(下記以外は4-1コンクリート打放し仕上げ外壁、及び4-2モルタル塗り仕上げ外壁による) ※タイルを撤去して改修 (撤去後の補修はタイル部分張替工法による) ※樹脂注入工法 ・ Uカットシール材充てん工法 ・タイルを撤去しないで改修 ※樹脂注入工法
	2	欠損部改修工法 [4.1.4] [4.5.3] [4.5.6-7]	・タイル部分張替工法 (欠損部の面積が0.25㎡/箇所以下の場合及び下地モルタルがある場合) 接着材の種類 ※ポリマーセメントモルタル ・ エポキシ樹脂 ・タイル張替工法 (下地モルタルを撤去する場合) 既製調合モルタル (張り付け用に使用する場合) 製造所 評価名簿による
	3	浮き部改修工法 [4.1.4] [4.5.4] [4.5.8-14]	・アンカーピンニング部分エポキシ樹脂注入工法 ( ・ 注入口付 ) ・アンカーピンニング全面エポキシ樹脂注入工法 ( ・ 注入口付 ) ・アンカーピンニング全面ポリマーセメントスラリー注入工法 ( ・ 注入口付 ) ・注入口付アンカーピンニングエポキシ樹脂注入タイル固定工法 注入口付アンカーピン本数 ・タイル部分張替工法 接着材の種類 ※ポリマーセメントモルタル ・ エポキシ樹脂 ・タイル張替工法 (下地モルタルを撤去する場合) 既製調合モルタル (張り付け用に使用する場合) 製造所 評価名簿による
	4	タイル張替工法用材料	接着剤 ※ポリマーセメントモルタル 製造所 評価名簿による ・エポキシ樹脂 製造所 評価名簿による  タイルの品質 製造所 評価名簿による 施工箇所 形状 (mm) きじ うわぐすり そ の 他  役物の使用箇所 内 装 出隅 天端 外 装 出隅、窓台、マガサ (標準一体成型品以外は接着成型品とする)  既製調合モルタル 製造所 評価名簿による

4 1 4 外壁 改修 工事 (塗り 仕上げ 外壁)	1	仕上げ塗材仕上げ [4.1.4] [4.2.2]	・薄付け仕上げ塗材 種 類 仕上げの形状 工 法 ・外装薄塗材 E ・砂壁状 ・吹付け ・着色骨材砂壁状  ・厚付け仕上げ塗材 種 類 仕上げの形状 工 法 上 塗 材 ・外装薄塗材 E スタッコ状 ・吹出し ・吹付け ・行う ・凸部処理 ・行わない  ・複層仕上げ塗材 種 類 仕上げの形状 工 法 上塗材 (耐油性 耐熱性 3種) ・複層塗材 C E ・ゆず肌状 ローラー ※水系 ・シリカ系 ※つやなし ・複層塗材 S i ※水系 ※アクリル系 ※つやあり ・複層塗材 E ・凸部処理 吹付け ・約10μm ※つやなし ・複層塗材 R E ・凹凸模様 ・約100μm ※つやあり ・複層塗材 R S ・フッ素系 ※つやなし ・ 弱溶剤系 ※アクリル系 ※つやあり ・約10μm ※つやなし  上塗り材の塗布量 メタリック 0.4kg/㎡以上 ポリウレタン系、アクリルシリコン系、フッ素系 0.35kg/㎡以上  塗膜はく離材 製造所 ( ) 防火材料の指定箇所 ( )
	2	既存塗膜等の除去及び 下地処理 [4.6.3]	既存塗膜の劣化部の除去及び下地の処理の工法 ※サンダー工法 ※既存仕上げ全体 ・高圧水洗工法 処理範囲 ・図示の範囲 ・30MPa程度 ・50MPa程度 ・100MPa程度 ・塗膜はく離工法 ・水洗い工法 処理範囲 ・上記3工法の処理範囲以外の既存仕上げ全体 ・図示の範囲  下地調整材料 ※下地調整塗材 ・ポリマーセメントモルタル ・防水形仕上げ塗材主材
	⑤ ① ② ③	① 改修工法 [5.1.3] ② 建具見本の製作 [5.1.5] ③ アルミニウム製建具 [5.2.2-4]	※かぶせ工法 ( ) ・撤去工法 ( ) ※製作しない ・製作する 性能等級等 種 別 ※A 種 種 別 B 種 種 別 C 種 耐風圧性 ※S-4 種 別 S-5 種 別 S-6 気密性 ※A-3 種 別 A-4 水密性 ※W-4 種 別 W-5 枠見込み (mm) 70 100 表面処理 ※B-1種 種 別 B-2種 (色調 'ブロンズ'・'スタンダー'・'ブラック') 層内 ※C-1種

6 1 鋼製 軽量 建具 [5.4.2-3]	鋼製軽量建具 [5.4.2-3]	区分 材 質 召合わせ、緩小口包み板 ・鋼板 ※ ステンレス ・ アルミニウム 扉の表面板、押縁 ※ 鋼板 ・ ビニル被覆鋼板 枠類 ※ 鋼板 (くつずりはステンレス) ・ 製作所仕様 製作所 評価名簿による
	7 鋼製 軽量 建具 (複層建具) [16.4.2-5]	戸の鋼板 ※表面処理面めっき鋼板 ・ビニル被覆鋼板 ・ J I S G 3 3 1 3 (電気亜鉛めっき鋼板及び鋼帯) による。(カラー鋼板の場合)  塗装 戸の鋼板を J I S G 3 3 1 3 による場合は (16.4.4.(e)にかかわらず) 建具製作所の仕様とする。 鋼板類の厚さは (表16.4.1にかかわらず) 以下とする。 枠類 (くつずり) : 1.6mm (ステンレス鋼板) 戸 (表面板) : 0.6mm 戸 (召合わせ、緩小口、包み板、押縁) : 0.6mm以上 製品の寸法許容差 出入口の寸法許容差については (表16.3.3にかかわらず) J I S A 4 7 0 2 (寸法公差)による。 枠の組立 隅は開づき (表16.4.2にかかわらず、面落ちも可) 又は留めとし、いずれも溶接する。 戸 (緩小口包み及び召し合わせを含む) の組立 建具製作所の仕様とする 製作所 評価名簿による
	8 ステンレス 製建具 [5.5.4-6]	寸法許容差 (W・H>2m、W×H>3㎡、枠見込み>120mmの場合) ※表5.3.3による 曲げ加工 ※普通曲げ ・ 角出し曲げ 製作所 評価名簿による

9 自動ドア 開閉装置 [5.6.3]	センサの種類 ・マット ・ 電子 (電磁) ※光線 (反射) ・ 音波 ・ 熱線 ・ 光電 取付位置 ・ 床面 ・ 天井面 ・ 壁面 ※無目 開閉装置の製作所 評価名簿による
① 建具用金物 [5.7.2-5]	評価名簿によるもの モノロック、本締め付モノロック、シリンダー箱錠、シリンダー本締め錠 ドアクローザ (※面付形 ・ コンシールド形) ピンクローザ (・丁番形 ※中心吊り形) フロアヒンジ (※中心吊り込み ・ 持出し吊り込み) マスターキー (製作する ( 3組 ) ・ 製作しない ・ 既存に組込む) 鍵箱 ・ 設ける ( 個用 組 ) ・ 設けない
① 建具用金物 (複層建具) [16.8.3]	錠前類は、レバーハンドル錠とする なお、錠前類は建具製作所の指定のものとし、監督職員の手帳を受ける。 吊金物 ○ 丁番 (内部建具については、軸を鉄芯としてもよい) ・ピボットヒンジ

⑥ 建 具 改 修 工 事	①	ガラス [5. 8. 2]	共通仕様書の規定による材料又は、評価名簿による材料																															
	②	ガラスとめ材 [5. 8. 2]	<table border="1"> <tr> <th>建具の種類</th> <th>材 種</th> </tr> <tr> <td>鋼製</td> <td>※ シーリング材</td> </tr> <tr> <td>アルミニウム製</td> <td>○ ガasket ※ シーリング材</td> </tr> <tr> <td>ステンレス製</td> <td>※ シーリング材</td> </tr> <tr> <td>木製</td> <td>※ シーリング材</td> </tr> </table> <p>防火戸のガラスとめ材は、建築基準法に基づく防火性能の認定を受けた条件による</p>	建具の種類	材 種	鋼製	※ シーリング材	アルミニウム製	○ ガasket ※ シーリング材	ステンレス製	※ シーリング材	木製	※ シーリング材																					
	建具の種類	材 種																																
	鋼製	※ シーリング材																																
	アルミニウム製	○ ガasket ※ シーリング材																																
	ステンレス製	※ シーリング材																																
	木製	※ シーリング材																																
	③	ガラス漬の寸法、形状等 [5. 8. 3]	[表5. 8. 1] 以外は、JASS17ガラス工事3節の規定による																															
	④	重量シャッター [5. 9. 2]	<p>種類 ・一般 ・外壁用防火 ・屋内用防火 ○ 屋内用防煙</p> <p>防煙シャッターは、自動開閉装置及び随時開閉装置とし、運動制御盤及び感知器は別途とする</p> <p>開閉機能による種類 ※上部電動式(手動併用) ・上部手動式</p> <p>シャッターケース(防火、防煙以外) ※設ける ・設けない</p> <p>製造所 評価名簿による</p>																															
	1.6	軽量シャッター [5. 10. 2~4]	<p>開閉形式 ・上部電動式(手動併用) ※手動式</p> <p>スラットの材質 ※塗装溶融亜鉛めっき鋼板</p> <p>スラットの形状 ※インターロッキング形 ・オーバーラッピング形</p> <p>シャッターケース ※設ける ・設けない</p> <p>ガイドレールの材質 ※ステンレス製(SUS304)厚さ1.5mm(・中柱共 )</p> <p>座板(座外の場合) ※ステンレス製既製品</p> <p>製造所 評価名簿による</p>																															
1.7	オーバーヘッドドア [5. 11. 2~5]	<p>セクション材料による区分 ※ステールタイプ ・アルミニウムタイプ ・ファイバーグラスタイプ</p> <p>開閉形式による区分 ※バラン式 ・チェーン式 ・電動式</p> <p>収納形式による区分 ・スタンダード形 ・ローヘッド形 ・ハイリフト形 ・パナチカル形</p> <p>障害物感知装置(電動の場合) ※設ける ・設けない</p> <p>ガイドレールの材質 ※溶融亜鉛めっき鋼板 ・ステンレス製(SUS304)厚さ2.0mm</p> <p>製造所 評価名簿による</p>																																
⑤	障害物感知装置	<p>電動式のシャッター(トア)に使用する障害物感知装置の構造は以下による</p> <p>シャッター(トア)の電動降下時に障害物を感知し、シャッター(トア)を自動的に停止させる機能を有するものとする</p>																																
1.9	危害防止機構	<p>感知器からの信号を受けて自動的に閉鎖する防火又は防煙シャッターには、「防火シャッター閉鎖作動時の危害防止ガイドライン」(注)日本シャッター工業会 平成10年10月における危害防止機構として、当該シャッター最下部の座金に設置する感知器が人に接触すると同時に閉鎖作動を停止させ、その後、人がいなくなった時に再び降下を開始し、完全に閉鎖させるよう自動閉鎖装置へ信号を送る障害物感知装置を設ける。ただし、吹き抜けに面する等、シャッター降下中のくくり掛け行動が想定されないものは除く</p>																																
⑥	付属電気設備	<p>自動扉、電動シャッター、電動オーバーヘッドトアの電動機が三相電動機0.4KW以上の場合は、機器付属の操作盤内に電動機保護用遮断機及び過相用コンテナーを設置すること</p>																																
⑥ 内 装 改 修 工 事	①	他の部分との取り合い [6. 1. 3]	<p>○ 既存壁の撤去に伴う当該壁の取り合う天井、壁面及び床の改修範囲</p> <p>○ 壁厚程度とし、既存に準じた仕上げとする ・図示</p> <p>○ 天井の撤去に伴う取り合い部の壁面の改修</p> <p>※既存のまま ・図示</p>																															
	②	既存床仕上げ材の除去等 [6. 2. 2]	<p>合成樹脂塗床材の除去</p> <p>○ 機械的除去工法 ・目荒工法</p> <p>改修後の床の清掃範囲</p> <p>※改修部の端部より1m程度 ・図示</p>																															
	③	ビニルシート、ビニル床タイル及びゴム床タイル [6. 8. 2]	<p>○ ビニル床シート</p> <table border="1"> <tr> <th>種 類</th> <th>記 号</th> <th>色 柄</th> <th>厚 さ (mm)</th> <th>工 法</th> </tr> <tr> <td>※発泡層のないもの</td> <td>※N C</td> <td>※無 地</td> <td>※2.0</td> <td>・突付け</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>※2.5</td> <td>※熱溶接</td> </tr> </table> <p>・ビニル床タイル</p> <table border="1"> <tr> <th>種 類</th> <th>記 号</th> <th>厚 さ (mm)</th> </tr> <tr> <td>・ホモジニアス</td> <td>H T</td> <td>※2.0</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">・コンポジション</td> <td>・置き</td> <td>H T</td> <td>※5.0</td> </tr> <tr> <td>※半硬質</td> <td>C T</td> <td>※2.0</td> </tr> <tr> <td></td> <td>・軟質</td> <td>C T S</td> <td></td> </tr> </table>	種 類	記 号	色 柄	厚 さ (mm)	工 法	※発泡層のないもの	※N C	※無 地	※2.0	・突付け				※2.5	※熱溶接	種 類	記 号	厚 さ (mm)	・ホモジニアス	H T	※2.0	・コンポジション	・置き	H T	※5.0	※半硬質	C T	※2.0		・軟質	C T S
種 類	記 号	色 柄	厚 さ (mm)	工 法																														
※発泡層のないもの	※N C	※無 地	※2.0	・突付け																														
			※2.5	※熱溶接																														
種 類	記 号	厚 さ (mm)																																
・ホモジニアス	H T	※2.0																																
・コンポジション	・置き	H T	※5.0																															
	※半硬質	C T	※2.0																															
	・軟質	C T S																																

4	①	特殊機能床材(帯電防止)	<table border="1"> <tr> <th>種 類</th> <th>記 号</th> <th>厚 さ (mm)</th> <th>性 能</th> </tr> <tr> <td>・帯電防止床シート</td> <td>N C</td> <td>※2.0</td> <td>※体積抵抗値(Q)・1.0×10<sup>8</sup>以下</td> </tr> <tr> <td>○ 帯電防止床タイル</td> <td>C T S</td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>・特殊機能床材(帯電防止以外)</p> <table border="1"> <tr> <th>種 類</th> <th>厚 さ (mm)</th> <th>寸 法 (mm)</th> </tr> <tr> <td>○ 視覚障害者用床材(塩ビ製)</td> <td>※2.0</td> <td>※300×300</td> </tr> <tr> <td>・視覚障害者用床材(合成ゴム製)</td> <td>※2.0</td> <td>※400×400</td> </tr> </table>	種 類	記 号	厚 さ (mm)	性 能	・帯電防止床シート	N C	※2.0	※体積抵抗値(Q)・1.0×10 <sup>8</sup> 以下	○ 帯電防止床タイル	C T S			種 類	厚 さ (mm)	寸 法 (mm)	○ 視覚障害者用床材(塩ビ製)	※2.0	※300×300	・視覚障害者用床材(合成ゴム製)	※2.0	※400×400																														
	種 類	記 号	厚 さ (mm)	性 能																																																		
	・帯電防止床シート	N C	※2.0	※体積抵抗値(Q)・1.0×10 <sup>8</sup> 以下																																																		
	○ 帯電防止床タイル	C T S																																																				
	種 類	厚 さ (mm)	寸 法 (mm)																																																			
	○ 視覚障害者用床材(塩ビ製)	※2.0	※300×300																																																			
	・視覚障害者用床材(合成ゴム製)	※2.0	※400×400																																																			
	②	合成樹脂塗床 [6. 9. 2~3]	<p>ビニル巾木の長さ(mm) ※60・75 ○100</p> <p>共通仕様書の規定による材料又は評価名簿による材料</p> <p>・弾性ウレタン塗り床材</p> <p>仕上げの種類 ※平滑仕上げ ・防汚仕上げ ・つや消し仕上げ</p> <p>・エポキシ樹脂塗り床材</p> <p>仕上げの種類 ・滑膜流し展べ仕上げ ・厚膜流し展べ仕上げ</p> <p>・樹脂モルタル仕上げ ・防汚仕上げ</p> <p>製造所 イサム塗料㈱(エポフロアU)、輔エービーシー高倉(カラトップU) エスケー化研㈱(ワークフロアU)、中外商工㈱(アートフロアEUコート) 同等</p>																																																			
	③	床用防塵塗料塗り	<p>・タイルカーペット</p> <table border="1"> <tr> <th>種 別</th> <th>パイル形状</th> <th>寸法(mm)</th> <th>総厚さ</th> <th>電気抵抗(Ω)</th> <th>工 法</th> </tr> <tr> <td>※A種</td> <td>※ループパイル</td> <td>500角</td> <td>・6.5m</td> <td>※無い</td> <td>※全面接着</td> </tr> <tr> <td>・B種</td> <td>・カットパイル</td> <td></td> <td></td> <td>・10以下(JISL1904 23℃25%RH)</td> <td>のり付加工品敷き</td> </tr> </table>	種 別	パイル形状	寸法(mm)	総厚さ	電気抵抗(Ω)	工 法	※A種	※ループパイル	500角	・6.5m	※無い	※全面接着	・B種	・カットパイル			・10以下(JISL1904 23℃25%RH)	のり付加工品敷き																																	
	種 別	パイル形状	寸法(mm)	総厚さ	電気抵抗(Ω)	工 法																																																
※A種	※ループパイル	500角	・6.5m	※無い	※全面接着																																																	
・B種	・カットパイル			・10以下(JISL1904 23℃25%RH)	のり付加工品敷き																																																	
④	カーペット敷き [6. 12. 2~3]	<p>製造所 JIS A 6512によるもの又は、評価名簿による</p> <p>構造形式による種類 ※スタット式(「スタット」露出・「スタット」内蔵)・スタッド(パネル式)</p> <p>表面材質及び厚さ(mm) ※鋼板0.6</p> <p>仕上げ メラミン樹脂又はアクリル樹脂塗料機付け塗装(※常備品 ・指定色)</p> <p>パネル厚さ(mm) 程度</p> <p>製造所 JIS A 6512によるもの又は、評価名簿による</p>																																																				
⑤	可動間仕切り	<p>JIS A 6512によるもの又は、評価名簿による</p> <p>天井及び壁に使用する材料は、すべて防火材料の認定表示のあるものとする</p>																																																				
⑥	せつこうボード、その他ボード及び合板張り [6. 13. 2]	<table border="1"> <tr> <th>材種・規格</th> <th>施工箇所</th> <th>張り方</th> <th>厚 さ (mm) 等</th> </tr> <tr> <td rowspan="4">○ せつこうボード JIS A 6901 GB-R</td> <td rowspan="2">壁</td> <td>○ 下張り 突付け</td> <td>※9.5 (不燃認定品)</td> </tr> <tr> <td>・上張り ・目透かし</td> <td>※12.5 (不燃認定品)</td> </tr> <tr> <td>○ 直張り</td> <td>・突付けV目地</td> <td></td> </tr> <tr> <td>天井</td> <td>○ 下張り 突付け</td> <td>※9.5 (準不燃認定品) ・12.5 (不燃認定品)</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">・化粧せつこうボード(トラバーチン模様) JIS A 6901 GB-D</td> <td rowspan="2">天井</td> <td>・上張り ・直張り</td> <td>※9.5 (準不燃認定品) ・12.5 (不燃認定品)</td> </tr> <tr> <td>・直張り 突付け</td> <td>※9.5 (不燃認定品) ※455×910 ※910×910</td> </tr> <tr> <td>・化粧せつこうボード(杉板目プリント) JIS A 6901 GB-D</td> <td>天井</td> <td>直張り</td> <td>※9.5 (準不燃認定品) 下地共メーカー仕様による</td> </tr> <tr> <td>・無機繊維強化せつこうボード JIS A 6901 GB-F</td> <td>壁</td> <td>突付け</td> <td>※15 (不燃認定品)</td> </tr> <tr> <td>・吸音用穴あきせつこうボード JIS A 6901 GB-P</td> <td>天井</td> <td>上張り</td> <td>※9.5 (準不燃認定品) ・突付けV目地 不燃原紙裏打ち</td> </tr> <tr> <td>○ フックウール化粧吸音板 JIS A 6301 DR</td> <td>天井</td> <td>上張り</td> <td>※9.5 (不燃認定品) ・突付けV目地</td> </tr> <tr> <td>・グラスウール吸音材 JIS A 6301 GW-B</td> <td></td> <td></td> <td>※2.5 (不燃認定品) グラスウール吸音ボード 2号32K</td> </tr> <tr> <td>○ 無機セメント繊維強化せつこうボード JIS A 5430 0.8FK</td> <td></td> <td></td> <td>○ 目透かし ○5・8・5 (不燃認定品)</td> </tr> </table> <p>建築基準法に基づく防火材料の認定表示のあるものとする</p> <table border="1"> <tr> <th>施工箇所</th> <th>品質(製造所)</th> <th>防火性能の等級</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	材種・規格	施工箇所	張り方	厚 さ (mm) 等	○ せつこうボード JIS A 6901 GB-R	壁	○ 下張り 突付け	※9.5 (不燃認定品)	・上張り ・目透かし	※12.5 (不燃認定品)	○ 直張り	・突付けV目地		天井	○ 下張り 突付け	※9.5 (準不燃認定品) ・12.5 (不燃認定品)	・化粧せつこうボード(トラバーチン模様) JIS A 6901 GB-D	天井	・上張り ・直張り	※9.5 (準不燃認定品) ・12.5 (不燃認定品)	・直張り 突付け	※9.5 (不燃認定品) ※455×910 ※910×910	・化粧せつこうボード(杉板目プリント) JIS A 6901 GB-D	天井	直張り	※9.5 (準不燃認定品) 下地共メーカー仕様による	・無機繊維強化せつこうボード JIS A 6901 GB-F	壁	突付け	※15 (不燃認定品)	・吸音用穴あきせつこうボード JIS A 6901 GB-P	天井	上張り	※9.5 (準不燃認定品) ・突付けV目地 不燃原紙裏打ち	○ フックウール化粧吸音板 JIS A 6301 DR	天井	上張り	※9.5 (不燃認定品) ・突付けV目地	・グラスウール吸音材 JIS A 6301 GW-B			※2.5 (不燃認定品) グラスウール吸音ボード 2号32K	○ 無機セメント繊維強化せつこうボード JIS A 5430 0.8FK			○ 目透かし ○5・8・5 (不燃認定品)	施工箇所	品質(製造所)	防火性能の等級			
材種・規格	施工箇所	張り方	厚 さ (mm) 等																																																			
○ せつこうボード JIS A 6901 GB-R	壁	○ 下張り 突付け	※9.5 (不燃認定品)																																																			
		・上張り ・目透かし	※12.5 (不燃認定品)																																																			
	○ 直張り	・突付けV目地																																																				
	天井	○ 下張り 突付け	※9.5 (準不燃認定品) ・12.5 (不燃認定品)																																																			
・化粧せつこうボード(トラバーチン模様) JIS A 6901 GB-D	天井	・上張り ・直張り	※9.5 (準不燃認定品) ・12.5 (不燃認定品)																																																			
		・直張り 突付け	※9.5 (不燃認定品) ※455×910 ※910×910																																																			
・化粧せつこうボード(杉板目プリント) JIS A 6901 GB-D	天井	直張り	※9.5 (準不燃認定品) 下地共メーカー仕様による																																																			
・無機繊維強化せつこうボード JIS A 6901 GB-F	壁	突付け	※15 (不燃認定品)																																																			
・吸音用穴あきせつこうボード JIS A 6901 GB-P	天井	上張り	※9.5 (準不燃認定品) ・突付けV目地 不燃原紙裏打ち																																																			
○ フックウール化粧吸音板 JIS A 6301 DR	天井	上張り	※9.5 (不燃認定品) ・突付けV目地																																																			
・グラスウール吸音材 JIS A 6301 GW-B			※2.5 (不燃認定品) グラスウール吸音ボード 2号32K																																																			
○ 無機セメント繊維強化せつこうボード JIS A 5430 0.8FK			○ 目透かし ○5・8・5 (不燃認定品)																																																			
施工箇所	品質(製造所)	防火性能の等級																																																				
⑦	モルタル塗 [6. 15. 1~6] 遮断面	<p>この節は、コンクリート下地、コンクリートブロック下地等の面に、セメント、骨材等を主材料としてつくったセメントモルタル塗り工事に適用する。</p> <p>なお、モルタル塗りの厚さ、ひび割れを改修する場合は4章による。</p>																																																				

7 塗 装 改 修 工 事	①	壁タイル張り [6. 16. 5]	<p>内装タイル ・積上げ張り</p> <p>※壁タイル接着剤張り</p>																								
	②	断熱材打込み工法 [6. 17. 2]	<p>断熱材の種類 ※押出法ホリスチレンフォーム保温板2種b 厚さ ※2.5mm</p> <p>断熱補修材 ・断熱ウレタンフォーム 保温板1種2号 厚さ mm</p> <p>・断熱材と同材</p> <p>※吹付け硬質ウレタンフォーム断熱材(次項による)</p>																								
	③	断熱材現場発泡工法 [6. 17. 3]	<p>断熱材の種類 ※吹付け硬質ウレタンフォーム断熱材 厚さ 2.5mm</p> <p>難燃性 3級</p> <p>製造所 評価名簿による</p>																								
	④	防火材料 [7. 1. 3]	<p>壁内及び天井の塗装仕上げは建築基準法に基づく基材同等の認定表示のあるものとする</p> <p>塗装の種類がR品種の場合の既存塗膜の除去範囲</p> <p>※塗替え面積の30%</p>																								
	⑤	下地調整 [7. 2. 2~7]	<table border="1"> <tr> <th>塗 装 部 位</th> <th>塗 料 の 種 別</th> <th>種 別</th> </tr> <tr> <td>木部</td> <td>不透明塗料塗り</td> <td>(※R品種) (※RA品種)</td> </tr> <tr> <td></td> <td>透明塗料塗り</td> <td>(※R品種) (※RB品種)</td> </tr> <tr> <td>鉄面</td> <td></td> <td>(※R品種) (※RA品種)</td> </tr> <tr> <td>亜鉛めっき面</td> <td></td> <td>(※R品種) (※RA品種)</td> </tr> <tr> <td>モルタル面及びびりラスター面</td> <td></td> <td>(※R品種) (※RB品種)</td> </tr> <tr> <td>コンクリート及びびり成型セメント版面</td> <td></td> <td>(※R品種) (※RB品種)</td> </tr> <tr> <td>せつこうボード及びその他ボード面</td> <td></td> <td>(※R品種) (※RB品種)</td> </tr> </table>	塗 装 部 位	塗 料 の 種 別	種 別	木部	不透明塗料塗り	(※R品種) (※RA品種)		透明塗料塗り	(※R品種) (※RB品種)	鉄面		(※R品種) (※RA品種)	亜鉛めっき面		(※R品種) (※RA品種)	モルタル面及びびりラスター面		(※R品種) (※RB品種)	コンクリート及びびり成型セメント版面		(※R品種) (※RB品種)	せつこうボード及びその他ボード面		(※R品種) (※RB品種)
	塗 装 部 位	塗 料 の 種 別	種 別																								
	木部	不透明塗料塗り	(※R品種) (※RA品種)																								
		透明塗料塗り	(※R品種) (※RB品種)																								
	鉄面		(※R品種) (※RA品種)																								
	亜鉛めっき面		(※R品種) (※RA品種)																								
モルタル面及びびりラスター面		(※R品種) (※RB品種)																									
コンクリート及びびり成型セメント版面		(※R品種) (※RB品種)																									
せつこうボード及びその他ボード面		(※R品種) (※RB品種)																									
⑥	錆止め塗料塗り [7. 3. 2~3]	<table border="1"> <tr> <th>下 地 種 別</th> <th>塗 料 の 種 別</th> <th>種 別</th> </tr> <tr> <td>鉄面</td> <td>屋外(※A種・B種) 屋内(※A種・B種)</td> <td>・A種 ・B種 ※C種</td> </tr> <tr> <td>亜鉛めっき面</td> <td>鉛酸カルシウムさび止めペイント</td> <td>・A種 ・B種 ※C種</td> </tr> <tr> <td>新規鋼製建具等</td> <td>鉛酸カルシウムさび止めペイント</td> <td>※A種 ・B種 ・C種</td> </tr> </table>	下 地 種 別	塗 料 の 種 別	種 別	鉄面	屋外(※A種・B種) 屋内(※A種・B種)	・A種 ・B種 ※C種	亜鉛めっき面	鉛酸カルシウムさび止めペイント	・A種 ・B種 ※C種	新規鋼製建具等	鉛酸カルシウムさび止めペイント	※A種 ・B種 ・C種													
下 地 種 別	塗 料 の 種 別	種 別																									
鉄面	屋外(※A種・B種) 屋内(※A種・B種)	・A種 ・B種 ※C種																									
亜鉛めっき面	鉛酸カルシウムさび止めペイント	・A種 ・B種 ※C種																									
新規鋼製建具等	鉛酸カルシウムさび止めペイント	※A種 ・B種 ・C種																									
⑦	仕上げ塗料塗り [7. 4. 2] [7. 4. 3~5] [7. 6. 9] [7. 10. 2] [7. 11. 2]	<p>合成樹脂塗合ペイント塗りの塗料の種類</p> <p>屋外(・1種 ※2種) 屋内(※1種 ・2種)</p> <p>木部合成樹脂塗合ペイント塗りの種類</p> <p>新規(※A種(多孔質広葉樹を除く)) ・塗替え(※B種)</p> <p>鉄面合成樹脂塗合ペイント塗りの種類</p> <p>新規(※B種) ・塗替え(※B種)</p> <p>亜鉛めっき面合成樹脂塗合ペイント塗りの種類</p> <p>新規(※A種) ・塗替え(※A種(鋼製建具) ※B種(その他))</p> <p>塩化ビニル樹脂エマルジョン塗りの種類</p> <p>新規(※B種) ・塗替え(※B種)</p> <p>つやあり合成樹脂エマルジョン塗りの種類</p> <p>新規(※B種) ・塗替え(※B種)</p> <p>合成樹脂エマルジョン塗りの種類</p> <p>新規(※B種) ・塗替え(※B種)</p>																									
⑧	鉄筋 [8. 2. 1]	<table border="1"> <tr> <th>種類の記号</th> <th>径</th> </tr> <tr> <td>※SD295A</td> <td>D10, D13, D16</td> </tr> <tr> <td>※SD345</td> <td>D19以上</td> </tr> </table>	種類の記号	径	※SD295A	D10, D13, D16	※SD345	D19以上																			
種類の記号	径																										
※SD295A	D10, D13, D16																										
※SD345	D19以上																										
⑨	溶接金網 [8. 2. 2]	<p>寸法 ※6.0φ×100×100</p> <p>施工箇所 ( )</p>																									
⑩	シアコネクタ [8. 3. 4]	<p>○ 金属拡張アンカー ・接着系アンカー</p>																									

市民福祉会館改修工事(建築工事) 設計図

Date

図面名称 特記仕様書(改修)3/4

Scale No. 3



⑧-① ⑧-② ⑧-③ ⑧-④ ⑧-⑤ ⑧-⑥ ⑧-⑦ ⑧-⑧ ⑧-⑨ ⑧-⑩ ⑧-⑪ ⑧-⑫ ⑧-⑬ ⑧-⑭ ⑧-⑮ ⑧-⑯ ⑧-⑰ ⑧-⑱ ⑧-⑲ ⑧-⑳ ⑧-㉑ ⑧-㉒ ⑧-㉓ ⑧-㉔ ⑧-㉕ ⑧-㉖ ⑧-㉗ ⑧-㉘ ⑧-㉙ ⑧-㉚ ⑧-㉛ ⑧-㉜ ⑧-㉝ ⑧-㉞ ⑧-㉟ ⑧-㊱ ⑧-㊲ ⑧-㊳ ⑧-㊴ ⑧-㊵ ⑧-㊶ ⑧-㊷ ⑧-㊸ ⑧-㊹ ⑧-㊺ ⑧-㊻ ⑧-㊼ ⑧-㊽ ⑧-㊾ ⑧-㊿	① あと施工アンカー [8.2.4]	● 金風抗強アンカー 本体径 (mm)    埋め込み深さ (mm)    セット方式    ダボ筋の種類    径 (mm)    長さ (mm) <table border="1"> <tr> <td>10</td> <td>50</td> <td>本体打ち込み式</td> <td>異形</td> <td>10</td> <td>40d</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>"</td> <td>"</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>"</td> <td>"</td> <td></td> <td></td> </tr> </table> ・接着系アンカー <table border="1"> <tr> <td>接着剤の材質</td> <td>カプセルの種類</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> </tr> </table> あと施工アンカーは (社) 日本建築あと施工アンカー協会が品質判定の性能を満足するものとする	10	50	本体打ち込み式	異形	10	40d			"	"					"	"			接着剤の材質	カプセルの種類			② あと施工アンカーの試験 [8.10.4]	性能確認試験    ※行わない    ・行う 施工確認試験    ・行う    ・行わない アンカー径 (mm)   1ロット当たりの試験体の数 (本)	③ 施工管理技術者 [8.10.1]	適用する (社) 日本建築あと施工アンカー協会が定める「あと施工アンカー管理技術士」の資格以上の能力を有する者とする	④ コンクリートの種類と強度 [8.1.3]	※普通コンクリート 設計基準強度 (F <sub>o</sub> )    適用箇所 ※210 (kg/cm <sup>2</sup> ) ※240 (kg/cm <sup>2</sup> )	⑤ レディミキストコンクリートの種類 [8.1.3]	※I類    ・II類	⑥ コンクリートの仕上り [8.1.4]	位置、断面寸法の許容値は、[表8.1.2]による 合板せき板を用いた打放し仕上げの種類は、仕上表及び図示による 仕上げの平坦さは [表8.1.4]による	⑦ コンクリート中の塩化物量 [8.1.4]	0.30kg/m <sup>2</sup> 以下	⑧ 混和材料 [8.2.5]	※湿和剤    A E剤、A E減水剤、高性能A E減水剤 ・混和材    (・フライアッシュ ・高炉スラグ ・膨張材)	⑨ 型枠のせき板 [8.2.6]	※合板 (厚さ12mm)	⑩ 既存仕上げの撤去 [8.18.2]	既存仕上げの撤去    撤去範囲    ※図示 既存躯体の撤去    撤去範囲    ※図示	⑪ コンクリートの打設 [8.18.8]	打設工法の種類    ・圧入工法    ① 流し込み工法	⑫ 施工管理技術者 (7.1.4)	適用する	⑬ 鉄骨製作工場 [8.1.5]	・構造関係共通事項による工場    ・監督職員の承認する工場	⑭ 鋼材 [8.2.7]	種類の記号 ( )	⑮ 高力ボルト [8.2.8]	※トルシヤ形    ・JIS形    ・溶融亜鉛めっき高力ボルト	⑯ 溶接部の検査 [8.13.11]	適用する (※超音波探傷試験 )	⑰ 鋼材の溶融亜鉛めっき [7.12.3]	種類 ※ (表14.2.2) のA種 (軽量形鋼は、板厚によりB種・C種とする)	⑱ 既存仕上げの撤去 [8.18.2]	鉄骨ブレースの設置を行う場合に関連する既存仕上げ材の撤去範囲	⑳ 既存部分層目荒らし [8.18.3]	鉄骨フ レースが取り付く範囲の既存コンクリート面の目荒らしの程度 ※深さ5~10mm、100mm間隔程度	㉑ グラウト材 [8.2.10]	無収縮モルタル材    製造所    評価名簿による	㉒ 構造躯体用モルタル [8.2.10]	<table border="1"> <tr> <td>圧縮強度 (kg/cm<sup>2</sup>)</td> <td>フロー値 (mm)</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> </tr> </table>	圧縮強度 (kg/cm <sup>2</sup> )	フロー値 (mm)			㉓ 柱底等の均しモルタル [8.2.10]	無収縮モルタル材    ・使用する    ・使用しない    製造所    評価名簿による	① 柱補修工事 [8.2.2]	1 既存仕上げ材の撤去	撤去範囲    ※図示	2 目荒らし [8.2.3]	既存躯体コンクリート面の打ち継ぎ面全般に行う ※平均深さで0.5~1.0cm、最大深さで1.5cm程度の凹凸	3 工法 [8.2.0.5~7]	・溶接金網巻き及び溶接閉鎖フープ巻き工法 溶接金網の巻き手    ※重ね継手 コンクリート及び構造躯体用モルタルの打設    ・任入工法    ・流し込み工法 ・鋼板巻き工法 ・帯板巻き付け工法 ・連続繊維シート工法 製造所 ( ) 接着性試験及び耐久性試験    ・行う    ・行わない	① 耐震スリット新設工事 [8.2.1]	1 スリットの種類 [8.2.1.1]	※完全スリット    ・部分スリット 製造所 ( )	2 スリットへの充填材 [8.2.1.2]	シーリング材    施工箇所は図示 耐火材の使用    ・使用する    ・使用しない    遮音材の使用    ・使用する    ・使用しない 施工箇所    防火性能    材 料    施工箇所    材 料	9 除去及び封じ込めの工事 [9.3.1]	1 施工業者 [9.3.1]	「放射性アスベスト防止じん飛散防止処理技術」(民間開発建設技術の技術審査・証明業務補定規定 (昭和62年7月28日建設省告示第1451号))の証明を有する工法の施工業者	2 処理工法 [9.6.2] [9.6.2]	※除去処理    産廃物の搬出    ・密封処理    ・固化処理 ・封じ込め処理    除去及び汚染物の処理等    ・密封処理    ・固化処理	① フリーアケスフローア [2.3.2.4]	① 施工箇所 図示 構法    (・パネル構法    ・溝構法    ・パネル構法    ・溝構法) 地震時水平力    ① 1.0G    ・0.6G    ・1.0G    ・0.6G 耐荷重性能    ※3000N    ・5000N    ・3000N    ・5000N 高さ (mm)    ・50mm以下    ・    ・ パネル要素の材質    ・    ・ 床仕上げ材    ※「タイルカーペット」(※A種・B種)    ※「タイルカーペット」(※A種・B種) ※帯電防止ビニル床タイル    ・帯電防止ビニル床タイル ホルダー部及びスロープ    ※メーカー仕様    ・図示    ※メーカー仕様    ・図示 製造所    評価名簿による	② ブラインド [2.3.2.6]	形式    (・) ① 捲きブラインド    ・縦型ブラインド (防火性能を有するもの) スラットの材質    アルミニウム合金製    ・アルミスラット    ・クロススラット ブラインドの種類    ※ギヤ式    ・コード式 スラットの幅 (mm)    ※25    ・35    ・75以上    ・100	③ 表示工事 [2.3.2.10]	・案内板    ・庁舎案内板 (※標準詳細図による    ・図示による) ・視覚障害者用案内板 (※共通詳細図による    ・図示による) ・室名札    ※標準詳細図による    ・市販品 (製造所・品番) ・ピクトグラフ    ※標準詳細図による    ・市販品 (製造所・品番) ・庁舎文字    ※共通詳細図による    ・市販品 (製造所・品番) ・切抜文字 (・ステンレス製・黄銅製)    ・箱文字 (・ステンレス製・黄銅製) 字数 ( )    文字の大きさ ( )    号	④ 点検口 天井 材種    アルミニウム製    寸法 (mm)    ※450×450    ・600×600 形式    ・鋼線タイプ    ・目地タイプ 製造所    評価名簿による	⑤ 階段手すり笠木 ビニル製 製造所    ㈱アトラス (階段手すり)、ナカ工業㈱ (ナカハンドル)    同等	⑥ 天井見切り縁 材種    ※アルミニウム既製品    ① ビニル既製品	⑦ 視覚障害者用誘導ブロック 材種    ・コンクリート製 (厚さ60mm)    ① 磁器質タイル製    ② 内部ビニル製	⑧ アスベスト成形板の処理等	処理を行うアスベスト成形板の仕様 ・石綿スレート ① 石綿セメントかけ鉄カルシウム板 施工調査 アスベスト成形板の撤去にあたり、あらかじめ事前の施工調査を次の事項について行う。調査結果は、図面により記録し、監督職員に提出する。 (1) アスベスト成形板使用部位の確認 (2) アスベスト成形板の種類、厚さ等の確認 (3) アスベスト成形板使用数量の確認 (4) 施工範囲等の確認 ウレタン塗装品 (工場塗装) 仕掛図示 改修工事には、塗膜剥離、下地調整、鎮止め等を含む	9 化粧ケイカル板	仕掛図示	10 びびり・目地調整 仕掛図示	① 既設改修	改修工事には、塗膜剥離、下地調整、鎮止め等を含む	外壁改修フロー及び数量 ・コンクリート打放し仕上げ外壁の場合 外壁調査 (施工数量調査) 旧仕上げ材の撤去    ・全面    ※図示 ひび割れ部改修    欠損部改修    シーリング改修 修復注入工法 (注1)    リカットシール封入工法    シール工法    充てん工法    鉄筋筋部修繕工法    シーリング再充てん工法 A) m    B) m    C) m    D) m    m    m    m    m    m    m    m    m    m 0.1300×300mm    幅1000mm ケ所 下部調整材    ・全面    ※図示 仕上げ材仕上げ    ・全面    ※図示 ・モルタル塗り仕上げ外壁の場合 外壁調査 (施工数量調査) 旧仕上げ材の撤去    ・全面    ※図示 ひび割れ部改修    欠損部改修    浮き部改修    シーリング改修 モルタル撤去    ・しない    ・する アンカーピンニング注入工法    ・注入口付 修復注入工法 (注1)    リカットシール封入工法    シール工法    充てん工法    モルタル塗り仕上げ工法    部分工法    全面工法    全面工法    全面工法    シーリング再充てん工法 A) m    B) m    C) m    D) m    m    m    m    m    m    m    m    m    m    m カッター切り    カッター切り    指定部分    指定部分    指定部分    指定部分 下部調整材    ・全面    ※図示 仕上げ材仕上げ    ・全面    ※図示 ・タイル張り仕上げ外壁の場合 外壁調査 (施工数量調査) ひび割れ部改修    欠損部改修    浮き部改修    シーリング改修    目地改修 タイル撤去    ・する    ・しない アンカーピンニング注入工法    ・注入口付 修復注入工法 (注1)    リカットシール封入工法    タイル貼替工法    タイル貼替工法    部分工法    全面工法    全面工法    全面工法    シーリング再充てん工法    目地調整 A) m    B) m    C) m    D) m    m    m    m    m    m    m    m    m    m    m カッター切り    カッター切り    指定部分    指定部分    指定部分    指定部分    指定部分    指定部分    指定部分    指定部分
	10	50	本体打ち込み式	異形	10	40d																																																																																																			
			"	"																																																																																																					
		"	"																																																																																																						
接着剤の材質	カプセルの種類																																																																																																								
圧縮強度 (kg/cm <sup>2</sup> )	フロー値 (mm)																																																																																																								

工事区分表		区分は○印を適用する。●印がある場合は●印を適用する。																												
項目	電気 配線 力 電 力	通 信 配 線	機 械 配 線	ガ ス	備 考	項目	電気 配線 力 電 力	通 信 配 線	機 械 配 線	ガ ス	備 考	項目	電気 配線 力 電 力	通 信 配 線	機 械 配 線	ガ ス	備 考													
																		項目	電気 配線 力 電 力	通 信 配 線	機 械 配 線	ガ ス	備 考							
躯体関係						躯体関係						仕上げ関係																		
① RC造 (梁・壁・床)の 貫通孔・開口部	貫通スリーブ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	4. 昇降機関連	機械室換気設備工事				○		⑤ 湯沸室廻り	流し台・つり戸棚・水切り棚・コンロ台	●										
	貫通スリーブの補強	○										機械室照明設備工事	○						湯沸器				●	●						
	開口補強を要する型 枠材及び取り付け	●	●	●	●	●							電源及び接地線工事	○						既製品レンジフード換気扇				○						
	開口部の補強	●											機械室・ビットの点検用コンセント	○						現場製作 SUS フード	○									
	開口補強を要しない型 枠材及び取り付け	●	●	●	●	●							煙感知器設置工事	○						ミニキッチン本体	●									
	貫通孔・開口部の曇出し	○	○	○	○	○							停電時非常電源識別接点引込み工事	○						ミニキッチン用換気送風機・ダクト				●						
	スリーブ・型 枠の穴埋め	○	○	○	○	○							火災時識別リレー接点引込み工事	○						ミニキッチン用衛生配管										
2. S・SRC造 (梁・壁・床)の 貫通孔・開口部	S・SRC造鉄骨貫通鋼管スリーブ・補強	○									放送用信号線引込み工事	○					6. 便所廻り	洗面カウンター（既製品）				○								
	開口補強を要する型 枠材及び取り付け	○	○	○	○	○					インターホン・エレベーター監視盤の昇降路外配管工事	○						洗面カウンター（既製品以外）	●											
	開口部の補強	○									同上配線工事				○			鏡（規格寸法品）				●								
	開口補強を要しない型 枠材及び取り付け	○	○	○	○	○					ビット点検用タラップ				○			鏡（規格寸法以外）	○											
	貫通スリーブ	○	○	○	○	○					乗り場敷居受け	○						衛生陶器及び水栓類				●								
	貫通孔・開口部の曇出し	○	○	○	○	○					エレベーター監視盤への電源引込み工事	○						身障用手すり・ペーパーホルダー				●								
	スリーブ・型 枠の穴埋め	○	○	○	○	○												既製品カウンターと建築部材とのコーキング	●											
予備スリーブの穴埋め	○															衛生陶器廻りのコーキング				●										
③ 設備機器の基礎	屋上設置の基礎	●									仕上げ関係						7. 浴室廻り	ユニットバス・ユニットシャワー				○								
	屋上基礎で押さえコンにアンカーしない軽微なもの	○	○	○	○	○					① 軽鉄天井・壁下地	補強を要するボードの切り込み及び下地の補強	●							既製品浴槽（風呂蓋含む）				○						
	室内設置の基礎	●										補強を要しないボードの切り込み	●							浴槽・洗い場の排水金物				○						
	室内設置の基礎（電気・自家発電）	○										開口部の曇出し	●	●	●	●		●	洗濯機パン				○							
	受水槽基礎	○									リフト天井仕上げ材の器具廻り補修	○							⑥ 事務室廻り						ドアガラリ及びアンダーカット	●				
	屋外設置の基礎	○																	OAフロア切り込み及び補強	●										
	機器取り付け用アンカー・架台	○	○	○	○	○					② 既製間仕切り	切り込み及び補強	●																	
設備機器メンテナンス歩廊	○									位置ボックス		●	●	○		⑨ その他						2重ビット及びトレンチのマンホール蓋	○							
4. 昇降機関連	昇降路及び機械室の築造	○									③ つりボルト及びインサート	設備機器・器具・配管・配線・ダクト用	●	●	●	●	●	⑧ 事務室廻り	OAフロア切り込み及び補強	●										
	各階出入口三方枠及び位置表示器・乗場ボタン 取付け用開口部の仮枠穴開け工事	○								S造設備吊りボルト用構造部材																				
	三方枠・出入口扉					○																								
	乗場機器取付け後の壁・床・天井仕上げ工事	○									4. 外壁廻り	外壁ガラリ及びダクト接続用フランジ	○					⑨ その他	点検口（天井・床下・壁）	●										
	ビットの防水仕上げ工事	○								ウエザーカバー、バンドキャップ					●		掃除口等の天井仕上材の取付け					○								
	機械室のシンダーコンクリート打設及び 防塵塗装仕上げ	○								換気扇					●		自動閉鎖装置を取付ける防火戸の切込み補強		●											
	機械室床の機器搬入用の仮枠・補強及び 復旧工事	○								換気扇用枠					●		消火器設置工事		●				消火器							
	機械室床のロープ用穴等の仮枠穴あけ工事	○															厨房用グリストラップ					○								
	機械室天井のフック設置工事	○															トラフ・ビット類（蓋を含む）		○											
	機械室マンベーム受け梁設置工事	○															地下各水槽躯体及び防水・マンホール ・タラップ		○											
	昇降路がRC造の時、軌条・中間ビーム ブラケット他 昇降路内の鉄製部材一式						○												A L C板・壁開口・補強	○										
	昇降路がS造の時の中間ビームブラケット 受けピース	○																	油サービスタ ンクの防油堤	○										
																			フリーアクセスフロア内の防水堤	○										



工事区分表

区分は○印を適用する。●印が有る場合は●印を適用する。

項目	電気 配 力	機械 通 風	ガス	備考	項目	電気 配 力	機械 通 風	ガス	備考	項目	電気 配 力	機械 通 風	ガス	備考	
															電気 配 力
屋外排水設備・外構					電気配線配管										
1. 雨水	屋外雨水排水設備	○								機器付属の制御盤以降の配管配線(接地線共)			○	○	2次側
	柵及び柵蓋	○								機器付属の制御盤への電源供給配管配線	●				1次側
	ルーフトレイン	○								自動制御と動力盤との電源供給の渡り配管配線	●				
	雨水たて樋及び横引配管	○								自動扉への電源供給	●				
② 雑排水・汚水	屋外雑排水及び屋外汚水排水設備									自動扉キースイッチ及び配管	●				配管のみ
	柵及び柵蓋									自動扉本体及びキースイッチ以降の配線	○				
	化粧マンホール上蓋及び、蓋の仕上									電動シャッター ー電源供給	●				
										電動シャッター ー操作スイッチ用位置ボックス及び配管	●				配管のみ
3. 煙突	煙突	○								電動シャッター ー本体・操作スイッチ及びその間の配線	○				
	発電機室から煙突までの排気管	○								機器と付属操作スイッチの渡り配管	●				
	煙道接続用スリーブ	○								機器と操作スイッチの渡り配線				●	○
4. 浄化槽の躯体	現場施工形	○								小便器用節水装置への電源供給	●				
	ユニット形							○		注油口内アース端子よりのアース用配管配線	●				
5. 地下貯油槽 (タンク蓋を 設ける場合)	タンク室の躯体	○								防火戸の運動制御器・煙感知器・吸着板・ラッチ受産の取付け				○	
	タンク蓋の乾燥砂充填							○		上記の配線				○	
	タンク室のタンク本体及び配管							○		防火・防煙シャッター ー及び二次側配線	○	●			
	タンク蓋を設けない場合のタンク及び設置工事							○		上記運動制御器・煙感知器の取付け及び配線	●				
6. その他	駐車場ガソリントラップ	○								防煙ダンパー				○	
										上記運動制御器・煙感知器の取付け及び配線	○				
										排煙口				○	
										上記運動制御器・煙感知器の取付け及び配線	○				
									電気盤への電源供給				○		
									避雷導体間の接続工事				○		

市民福祉会館改修工事 (建築工事)

設計図

Date

図面名称 工事区分表2/2

Scale

No.

5-2





内部仕上表 < 既設 >

Table with columns for floor, room name, floor finish, wall, ceiling, and notes. It details the existing interior finishes for various rooms like meeting rooms, lecture halls, and restrooms.

内部仕上表 < 改修後 >

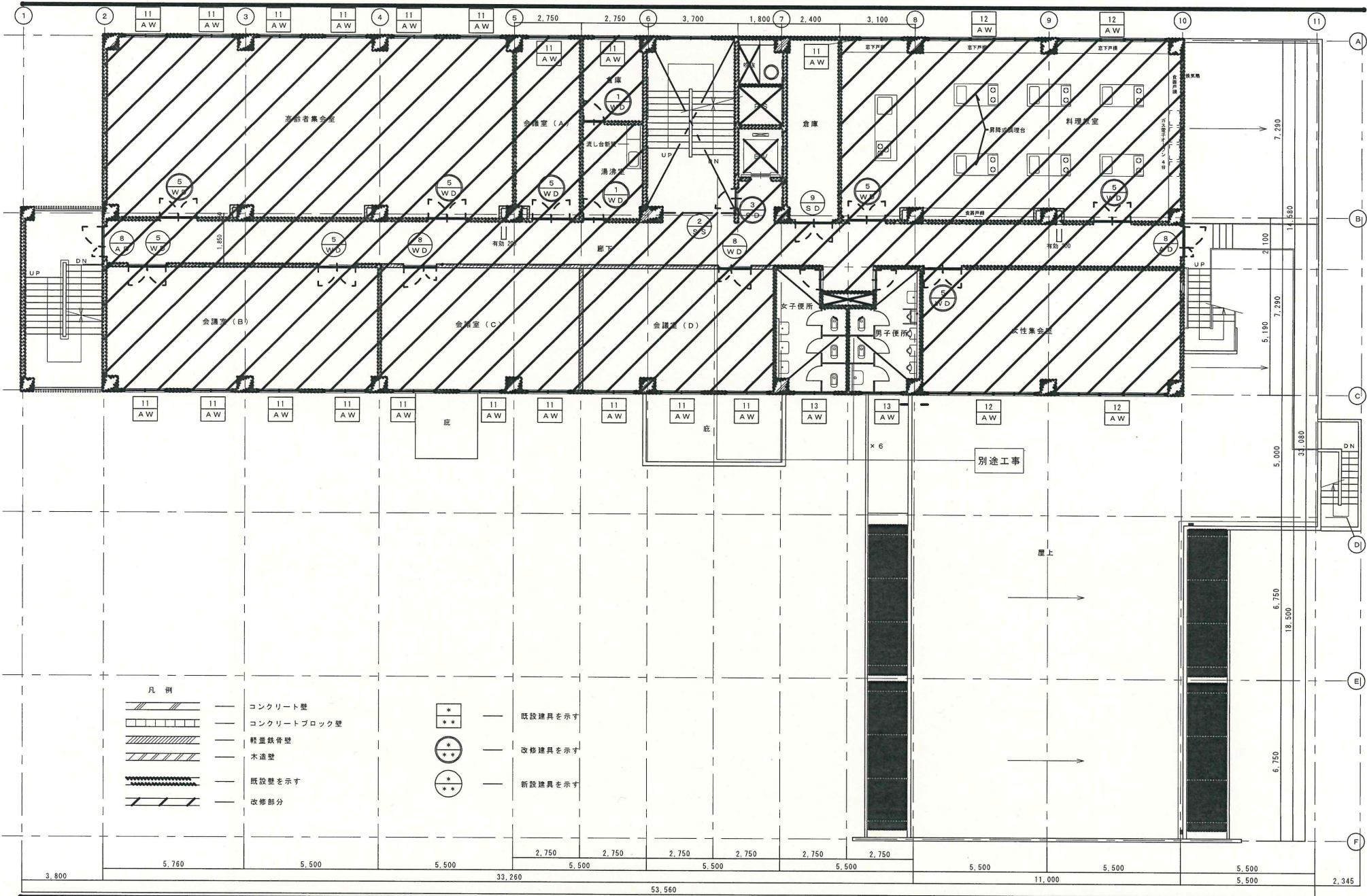
Table with columns for floor, room name, floor finish, wall, ceiling, and notes. It details the planned interior finishes after renovation for the same rooms, including new materials and construction methods.

市民福祉会館改修工事（建築工事） 設計図

Date

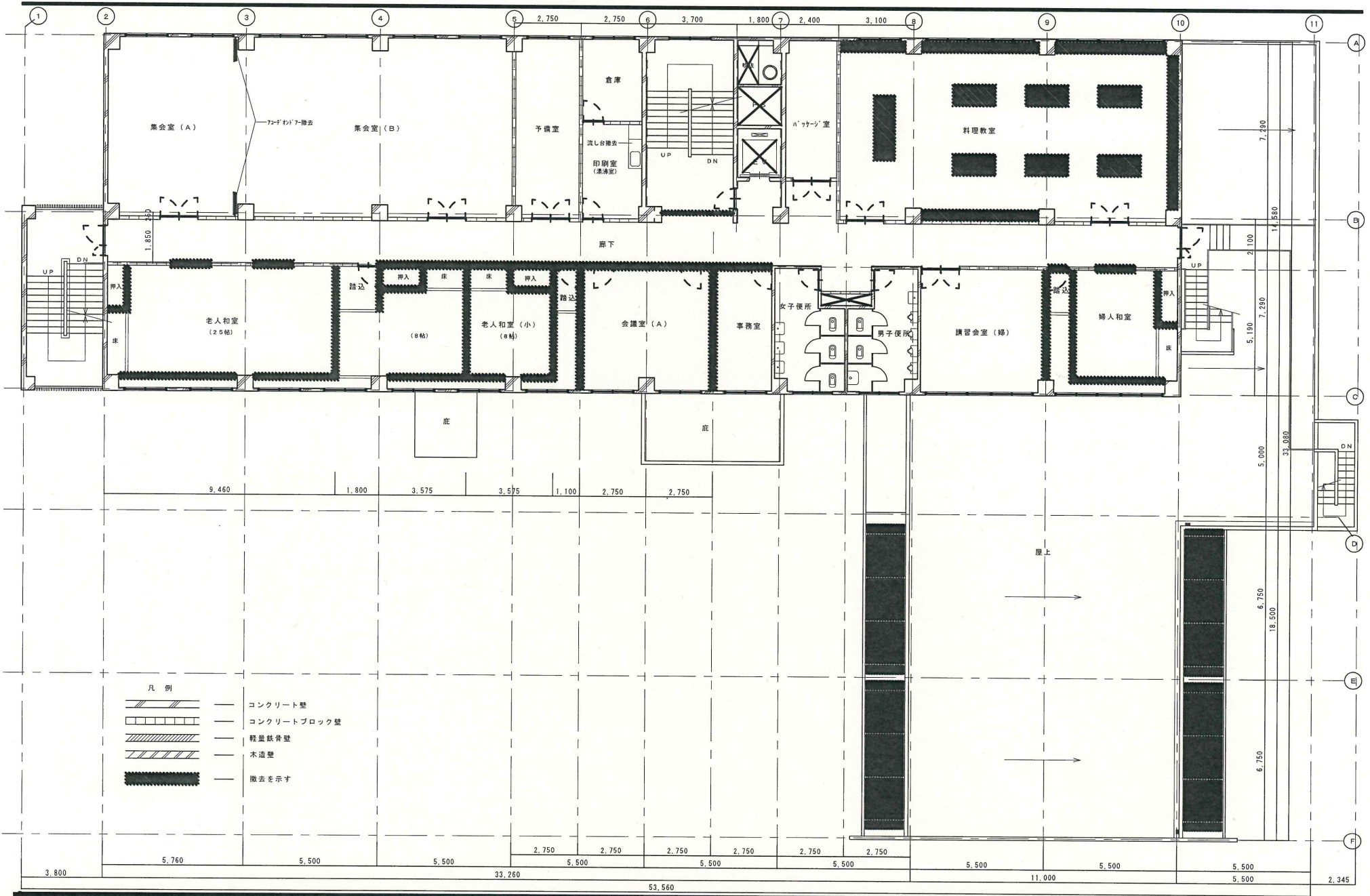
図面名称 2階内部仕上表

Scale No. 7

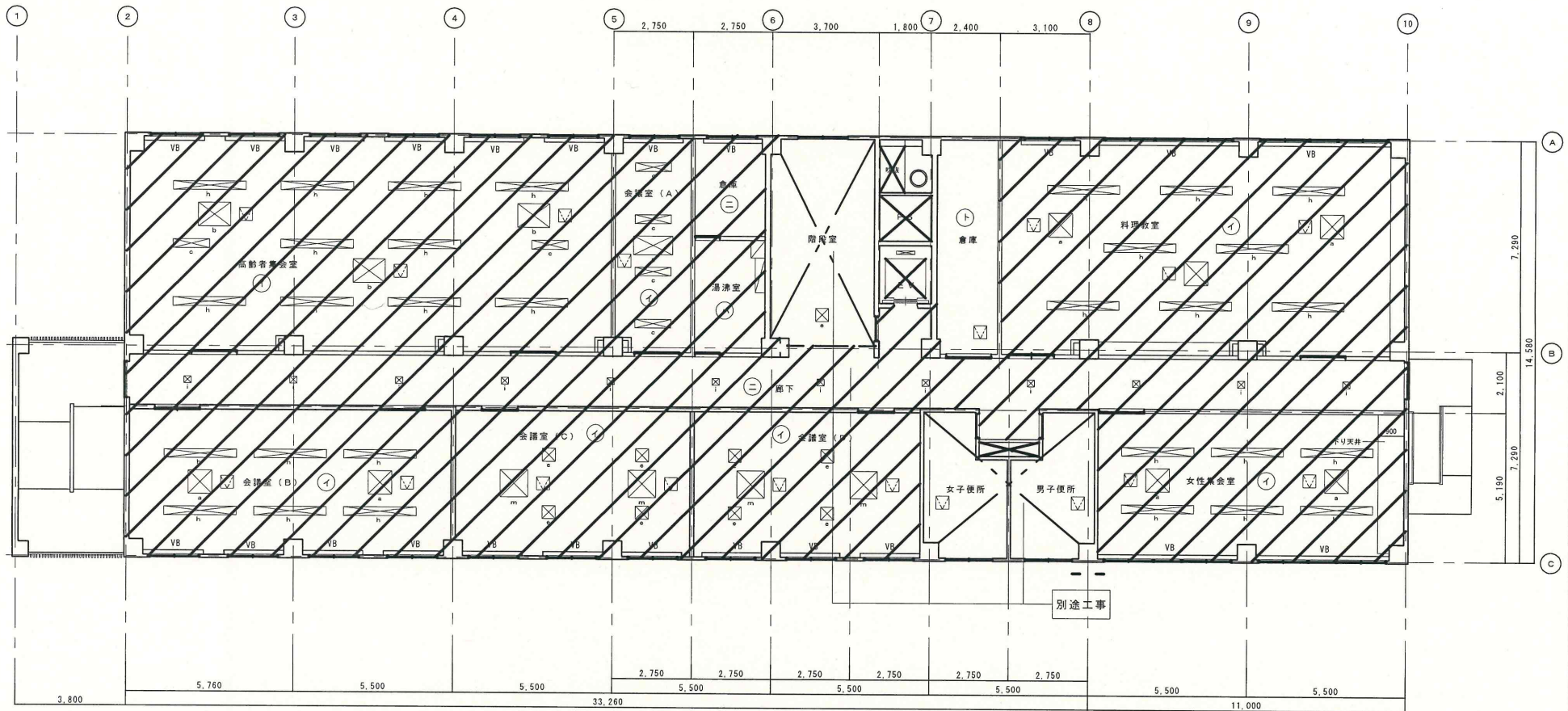


市民福祉会館改修工事 (建築工事)		設計図		図面名称	
				2階平面図 (改修後)	
Date		Scale		No.	
		1/100		8	





市民福祉会館改修工事 (建築工事) 設計図		図面名称	2階平面図 (既設)
Date		Scale	1/100
		No.	9



仕上

記号	仕上げ	記号	仕上げ
イ	LGS 下地 GB t=9.5 捨張り 岩種吸音板 t=12.0	チ	木 天井下地 ペニヤ t=4.0
ロ	既設 木天井下地 フリント板貼付		
ハ	LGS 下地 化粧板 t=5.0 VP塗		
ニ	LGS 下地 化粧石膏板 t=9.5		
ホ	LGS 下地 GB t=9.5 下地 t=12.0		
ヘ	既設 化粧 VPの上 AEP塗	VB	フリント板 772 W=120
ト	既設 のまま	天	天井点検口 450

天井開口補強リスト

記号	補強	記号	補強
ア	820×820	ハ	300×2500
イ	820×1110	ヒ	250×250
ロ	300×1250	ニ	220×10060
ハ	200×1250	ホ	220×6650
ニ	450×450	ヘ	950×950
ホ	300×3750	ト	225φ
ト	640×1350		

凡例

////// 改修部分

市民福祉会館改修工事（建築工事）

設計図

図面名称

2階天井伏図（改修後）

Date

Scale

1/100

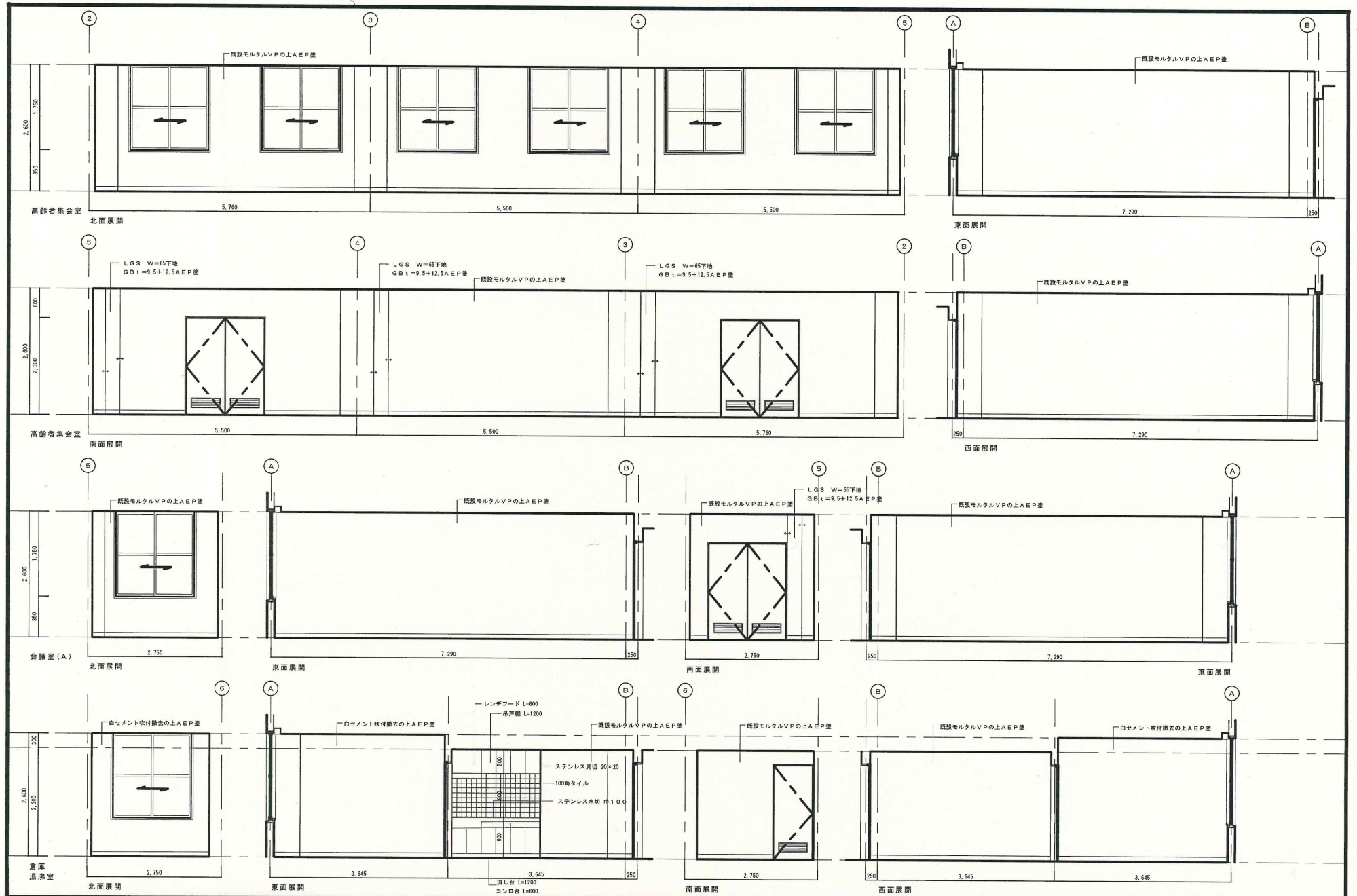
No.

10



符号	名称	② S S	① W D	④ S D	⑤ W D	⑧ W D	⑨ A D	⑩ S D
	防火防煙シャッター (甲種)		木製片開き戸	鋼製片開き扉 (防火戸)	木製両開き戸	木製両開き戸	アルミ製親子ドア	鋼製両開き扉
形状								
寸法	2,900 2,900		100 100 800 900	600 600 600	1,600 2,000	800 100 1,200	100 800 1,200	750 750 1,500
場所	階段室	1	便所	P S	会議室 (A) (B)	2	会議室 (C) (D)	2
材質	ステンール	S O P	木製	木製	木製	木製	アルミ	ステンール
ガラス	見込 (ア)	F=4.0	40	100	40	40	P-5.0	70
化粧の材質及び形状								
金具	スチール	100	ステンレス3枚吊、シリカゲル本締錠	戸当り、D. C.	ステンレス3枚吊、シリカゲル本締錠	戸当り、フラス落し、D. C.	ステンレス3枚吊、シリカゲル本締錠	戸当り、フラス落し、D. C.
符号	① W D	⑤ W D	③ S D	⑧ W D				
名称	木製片開き戸	木製両開き戸	鋼製片開き扉 (防火戸)	鋼製両開き格子扉				鋼製片開き扉 (防火戸)
形状	改修内容一枠 SOP 塗替 建具新設	改修内容一枠 SOP 塗替 建具新設	改修内容一枠、建具共 SOP 塗替	改修内容一枠、建具共 SOP 塗替				改修内容：1階階段室 防火戸取替
寸法	100 100 800 150 700 2,000	1,600 2,000	800 2,100	750 750 1,500 プレート t=0.8 粘の上 SOP 塗				800 2,100
場所	湯沸、倉庫	2	集会室、料理教室	6	階段室	1	倉庫	1
材質	ステンール	S O P	木製	木製	ステンール	O P の上 SOP	ステンール	O P の上 SOP
ガラス	見込 (ア)	F=4.0	40	40	100	100		
化粧の材質及び形状								
金具	ステンレス3枚吊、シリカゲル本締錠		ステンレス3枚吊、シリカゲル本締錠		ステンレス3枚吊、シリカゲル本締錠		ステンレス3枚吊、シリカゲル本締錠	
符号	⑪ A W	⑫ A W	⑬ A W					
名称	アルミ製引き違い窓	アルミ製引き違い窓	アルミ製引き違い窓					
形状	既設が 3/16" 以上で深く 倉庫内 1ヶ所							
寸法	1,600 1,750	1,600 1,750	1,600 1,100					
場所	ふれあいフロアー	1	料理教室、女性集會室	4	便所	2		
材質	アルミ		アルミ		アルミ			
ガラス	見込 (ア)	FL-3.0、北側-型-4.0	70	FL-3.5、北側-型-4.0	70	型-4.0	70	
化粧の材質及び形状								
金具	クレセント、引手		クレセント、引手		クレセント、引手			

一般事項		1. 建具の符号と種類				2. ガラスの符号と種類				3. 化粧の材質及び形状		4. 特記事項	
1. 各建具寸法は、全て枠内法を示す。 2. 本表には、造作家具の建具は含まない。 3. ドアの開閉方向は、平面図による。 — 新設建具を示す — 改修建具を示す — 既設建具を示す		符号	種類	符号	種類	符号	種類	符号	種類	符号	材質	形状	1. 据玉の高さ FL + ( ) mm
S T D	ステンレス製扉	S T S	ステンレス製シャッター	S	透明ガラス	P W	網(線)入磨ガラス (L)	S	ステンール		なし	2. マスターキー 要・不要	
S D	ステンール製扉	S S	ステンール製シャッター	P	磨ガラス	F W	網(線)入型ガラス (L)	S T	ステンレス		目地枠	3. ガラスシールは、(防火ビード又は一般ビード)とする。	
A D	アルミ製扉	S T G	ステンレス製ガラリ	F	型ガラス	H P	熱線吸収ガラス	A	アルミ		5	4. シリンダー錠のバックセットは ( ) mm	
W D	木製扉	S G	ステンール製ガラリ	F L	フロートガラス	H F W	網織入熱線吸収ガラス	T B	テラゾーブロック		6	5. 塵取納箱 要・不要	
T D	強化ガラス扉	A G	アルミ製ガラリ	T P	強化ガラス	H R S	熱線反射ガラス (シルバー)	M	モルタル		7	6. メーカー指定 有・無	
S T W	ステンレス製窓	W G	木製ガラリ	L	合わせガラス	H R B	熱線反射ガラス (グリーン)	W	木			7. アミ戸の網・サランネット・ステンレスネット	
S W	ステンール製窓	F	機	D	複層ガラス			B	ブロンズ				
A W	アルミ製窓	F D	戸機										
W W	木製窓	S	紙障子										



市民福祉会館改修工事 (建築工事)

設計図

Date

図面名称  
展開図 (2F-1) (改修後)

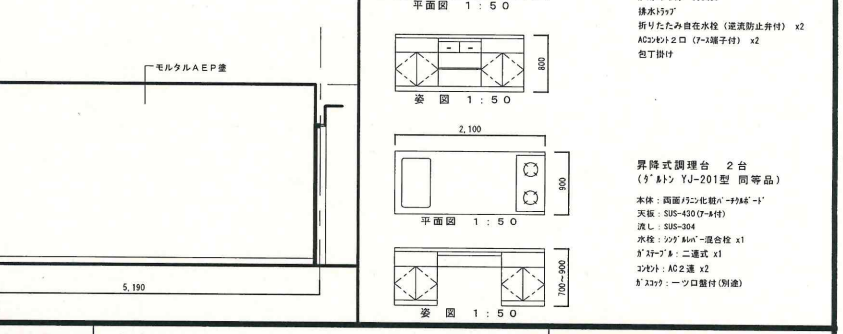
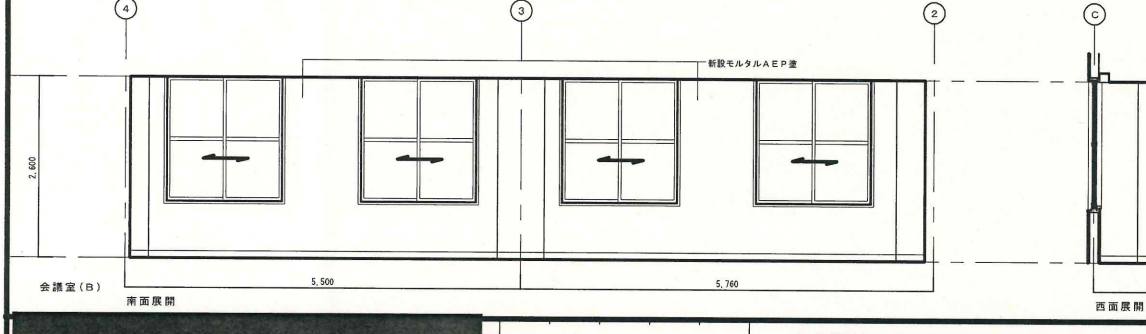
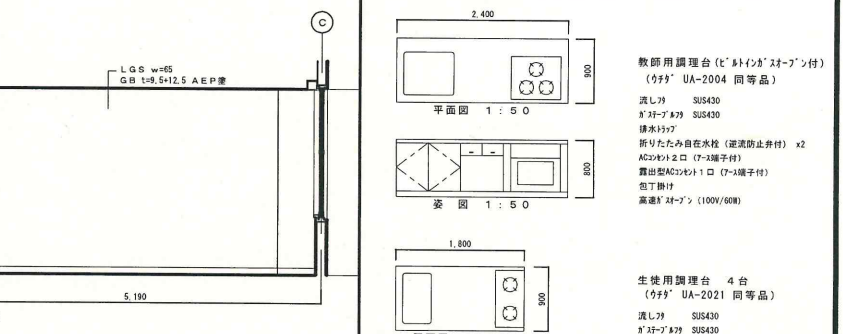
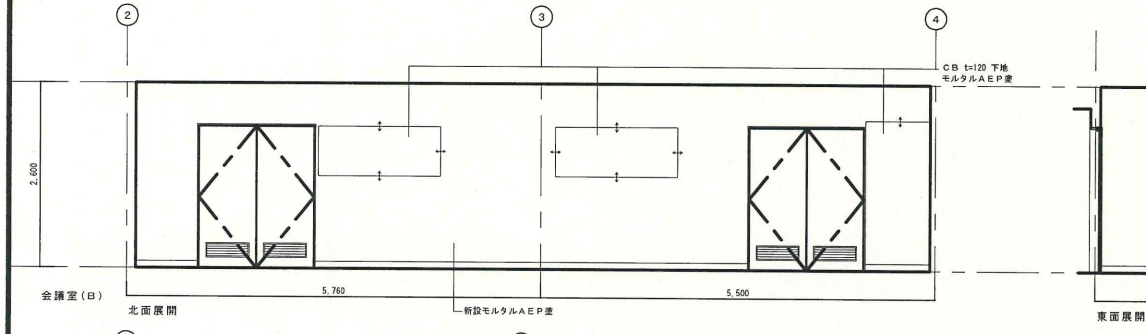
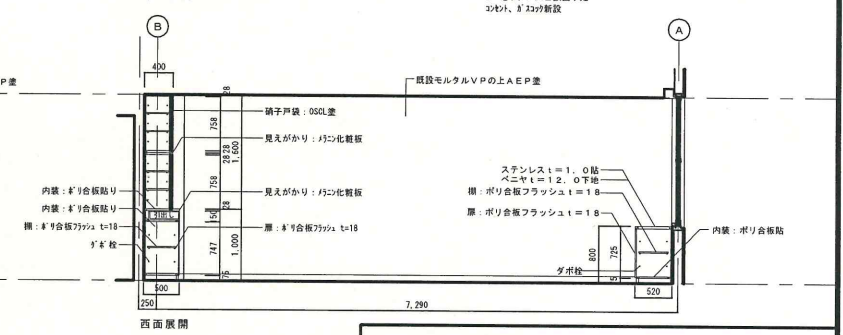
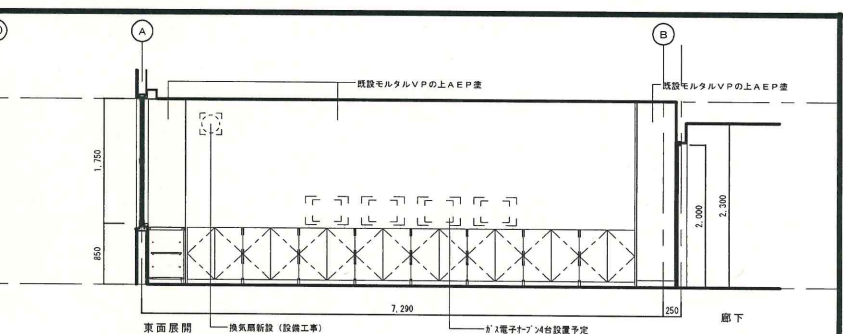
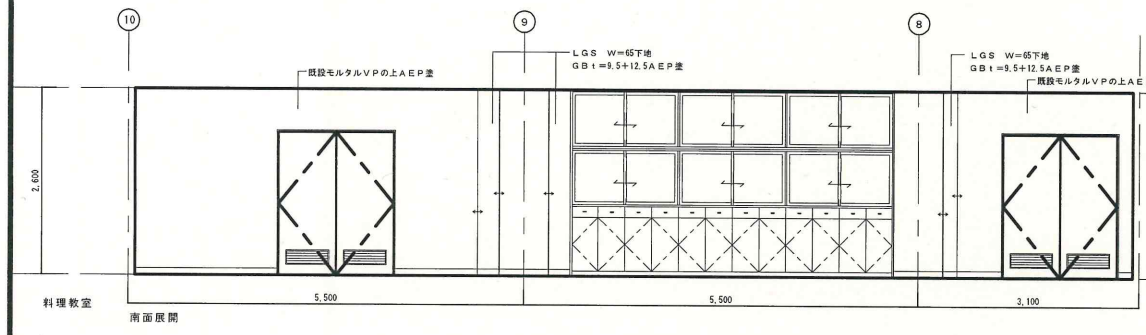
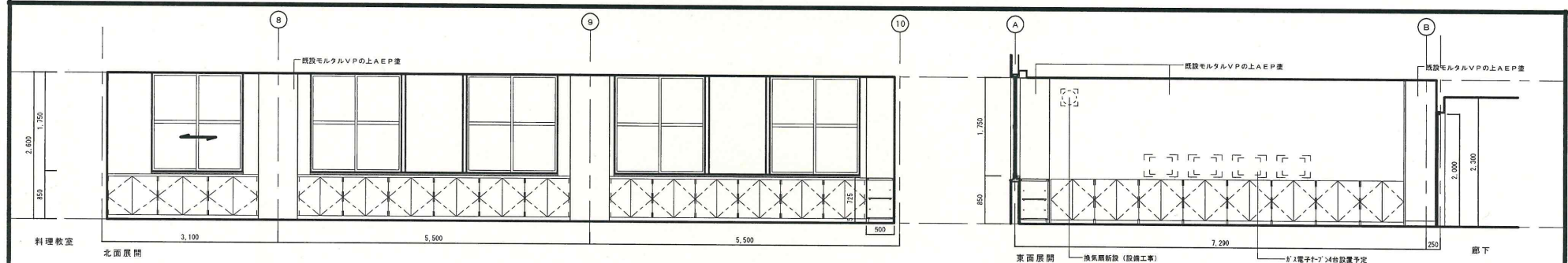
Scale

1/50

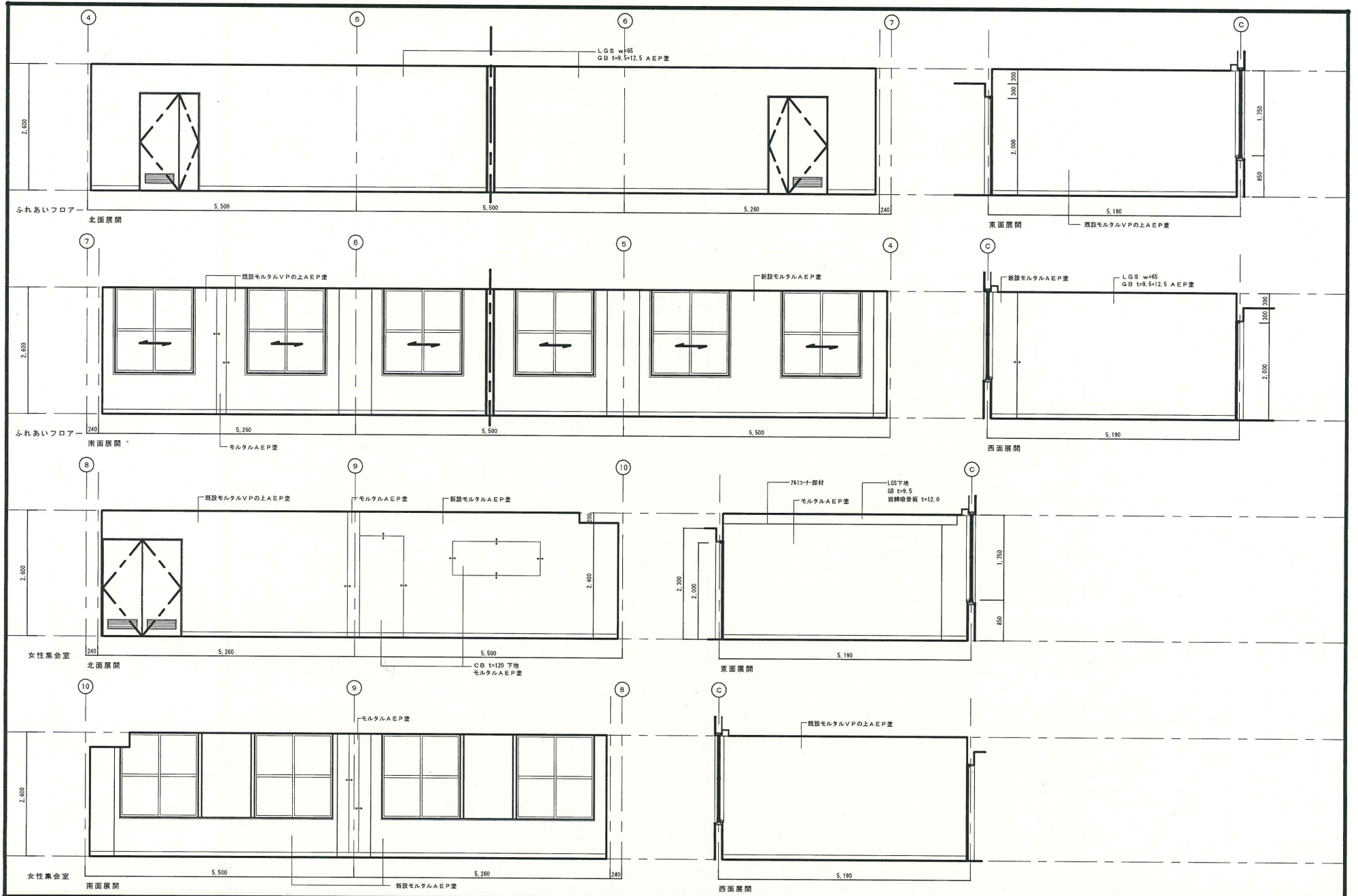
No.

12





<p>2,400 x 900</p>	<p>教師用調理台 (ビルトイン) スターアンプ付) (タチ) UA-2004 同等品)</p> <p>流し台 SUS430 シンク台 SUS430 積水1377 折りたたみ自在水栓 (逆流防止弁付) x2 AC20x2口 (7-3端子付) 算出型ACコンソート1口 (7-3端子付) 包丁掛け 高速度スターアンプ (100V/60Hz)</p>
<p>2,400 x 900</p>	
<p>1,800 x 900</p>	
<p>2,100 x 900</p>	<p>生徒用調理台 4台 (タチ) UA-2021 同等品)</p> <p>流し台 SUS430 シンク台 SUS430 積水1377 折りたたみ自在水栓 (逆流防止弁付) x2 AC20x2口 (7-3端子付) x2 包丁掛け</p>
<p>2,100 x 900</p>	
<p>1,700 x 900</p>	<p>昇降式調理台 2台 (タチ) YJ-201型 同等品)</p> <p>本体: 両面付シンク化粧板 (494x467) 天板: SUS-400 (7-3端子付) 流し: SUS-304 水栓: シンク専用混合水栓 x1 シンク: AC2連 x1 コンソート: AC2連 x2 シンク: 三口型付 (別送)</p>



市民福祉会館改修工事（建築工事）

設計図

Date

図面名称  
展開図（2F-3）（改修後）

Scale

1/50

No.

14



# 市民福祉会館改修工事設計図

## (建築工事)

### 3 階

図面リスト

図番	図面名称	縮尺	図番	図面名称	縮尺
-	表紙・図面リスト	-	8	3階平面図(改修後)	1/100
1	特記仕様書(改修)1/4	-	9	3階平面図(既設)	1/100
2	特記仕様書(改修)2/4	-	10	3階天井伏図(改修後)	1/100
3	特記仕様書(改修)3/4	-	11	3階建具表	1/100
4	特記仕様書(改修)4/4	-	12	展開図(3F-1)(改修後)	1/50
5-1	工事区分表1/2	-	13	展開図(3F-2)(改修後)	1/50
5-2	工事区分表2/2	-	14	展開図(3F-3)(改修後)	1/50
6	建物概要	-	15	矩計図(1)[参考図]	1/50
7	3階内部仕上表	-			

内部仕上表 < 既設 >											内部仕上表 < 改修後 >										
階	室名	床	巾木	腰	壁	天井	天井高	備考	階	室名	床	巾木	腰	壁	天井	天井高	備考				
3	地評事務局 (A)	Pタイル貼	ソト巾木 H=100	モザイク	VP	モザイク	VP	ジブトーン t=9.0	2600		3	地評事務局	Pタイル撤去の上 ビニール床シート t=2.0	ソト巾木撤去の上 ビニール巾木 H=100	既設モザイク VPの上AEP塗	既設モザイク VPの上AEP塗	ジブトーン t=9.0 下地共撤去	2600	VBK'ウツ 顔縁は SOP塗替 室名札		
	集會室 (D)	Pタイル貼	ソト巾木 H=100	モザイク	VP	モザイク	VP	ジブトーン t=9.0	2600			集會室 (D)	Pタイル撤去の上 ビニール床シート t=2.0	ソト巾木撤去の上 ビニール巾木 H=100	既設モザイク VPの上AEP塗	既設モザイク VPの上AEP塗	ジブトーン t=9.0 下地共撤去	2600	VBK'ウツ 顔縁は SOP塗替 室名札		
	男女シャワー室	7x7x7防水10-200 磁器モザイク貼		100角タイル貼 H=1900	モザイク	VP	石綿板 t=4.0 目透し張り	VP	2500 2300	ビニールシート		会議室 (A)	磁器モザイクと モザイク撤去	100角タイル撤去 ラワン H=60 撤去	100角タイル撤去	100角タイル撤去	石綿板 t=4.0 下地共撤去	2600	顔縁は SOP塗替 室名札 ビニールシート及び 洗面棚及び 洗面器撤去 VBK'ウツ 新設		
	脱衣室	7x7x7防水10-200 磁器モザイク貼 t=15 OS	ラワン H=60	OS	モザイク	VP	石綿板 t=4.0 目透し張り	VP	2150	脱衣棚			7x7x7防水10-200 磁器モザイク撤去	ソト巾木撤去の上 モザイク 下地 ビニール巾木 H=100	既設モザイク AEP塗 既設モザイク VPの上AEP塗 モザイク AEP塗	既設モザイク AEP塗 既設モザイク VPの上AEP塗 モザイク AEP塗	ジブトーン t=9.0 下地共撤去	2600			
	踏込み	Pタイル貼	ソト巾木 H=100	モザイク	VP	モザイク	VP	ジブトーン t=9.0	2300				Pタイル撤去の上 ビニール床シート t=2.0	ソト巾木撤去の上 ビニール巾木 H=100	既設モザイク VPの上AEP塗	既設モザイク VPの上AEP塗	モザイク AEP塗	2600			
	集會室 (C)	リノリューム貼	ソト巾木 H=100	モザイク	VP	モザイク	VP	ジブトーン t=9.0 梁型 モザイク	VP	3000		集會室 (C)	リノリューム撤去の上 ビニール床シート t=2.0	ソト巾木撤去の上 ビニール巾木 H=100	既設モザイク VPの上AEP塗	既設モザイク VPの上AEP塗	ジブトーン t=9.0 下地共撤去	3000	VBK'ウツ 顔縁は SOP塗替 室名札 ステンレス手摺 新設		
	三原地区 同盟事務局	Pタイル貼	ソト巾木 H=100 木製 H=100	OS	モザイク 一部難燃有孔 ベニヤ t=6.0	VP OP	モザイク 一部難燃有孔 ベニヤ t=6.0	VP OP	ジブトーン	2600		三原地区同盟	Pタイル撤去の上 ビニール床シート t=2.0	ソト巾木 H=100 撤去 木製 H=100 撤去 モザイク下地 ビニール巾木 H=100	難燃有孔ベニヤ t=6.0 撤去の上	難燃有孔ベニヤ t=6.0 撤去の上	ジブトーン t=9.0 下地共撤去	2600	VBK'ウツ 顔縁は SOP塗替 室名札		
	地評事務局 (B)	Pタイル貼	ソト巾木 H=100	モザイク	VP	モザイク	VP	ジブトーン t=9.0	2600			地区労センター	Pタイル撤去の上 ビニール床シート t=2.0	ソト巾木撤去の上 ビニール巾木 H=100	既設モザイク VPの上AEP塗	既設モザイク VPの上AEP塗	ジブトーン t=9.0 下地共撤去	2600	VBK'ウツ 顔縁は SOP塗替 室名札		
	和室 (A)	畳敷き	畳寄せ	ジュラク塗	ジュラク塗	フリント'ド'杉貼板			2450			労協	畳み撤去 Pタイル撤去 ベニヤ撤去の上 ビニール床シート t=2.0	畳寄せ撤去 ソト巾木撤去 雑巾摺撤去の上 ビニール巾木 H=100	ジブトーン クレムにより撤去 ベニヤ撤去の上	ジブトーン クレムにより撤去 ベニヤ撤去の上	フリント'ド'杉貼板撤去 ベニヤ撤去の上	2600	既設木部 撤去 室名札 VBK'ウツ 新設		
	踏込み	Pタイル貼	ソト巾木 H=100	ジュラク塗	ジュラク塗	フリント'ド'杉貼板			2300				モザイク下地調整 ビニールタ張り	モザイク下地調整 ビニールタ張り	モザイク下地調整 ビニールタ張り	モザイク下地調整 ビニールタ張り	2600				
	押入	ベニヤ	雑巾摺	ベニヤ	ベニヤ	ベニヤ			2450												
	労協	Pタイル貼	ソト巾木 H=100	モザイク	VP	モザイク	VP	ジブトーン t=9.0	2600			会議室 (B)	Pタイル撤去の上 ビニール床シート t=2.0	ソト巾木撤去の上 ビニール巾木 H=100	既設モザイク VPの上AEP塗	既設モザイク VPの上AEP塗	ジブトーン t=9.0 下地共撤去	2600	VBK'ウツ 顔縁は SOP塗替 室名札		
	湯沸	Pタイル貼	ソト巾木 H=100	モザイク	VP	モザイク	VP	ジブトーン t=9.0	2600			湯沸	Pタイル撤去の上 ビニール床シート t=2.0	ソト巾木撤去の上 ビニール巾木 H=100	既設モザイク VPの上AEP塗	既設モザイク VPの上AEP塗	ジブトーン t=9.0 下地共撤去	2600	VBK'ウツ 顔縁は SOP塗替 室名札		
	男子便所	7x7x7防水 押えコンクリート モザイク 磁器モザイク		100角タイル貼 H=1900	モザイク	VP	石綿板 t=4.0 目透し張り	VP	2300			男子便所	モザイクのみ撤去 磁器モザイクは はつり部 コクリート打設し 下地調整後モザイク補修の上 ビニール床シート t=2.0	100角タイルのみ撤去の上 ビニール巾木 H=70	100角タイル H=1900のみ 撤去の上	既設モザイク VPの上 覆層塗材 E	石綿板 t=4.0 下地共撤去	2300	顔縁は SOP塗替 既設トイレ'ス 撤去の上 トイレ'ス'ポリ合板 フラスコ 新設 ビニール		
	女子便所	7x7x7防水 押えコンクリート モザイク 磁器モザイク		100角タイル貼 H=1900	モザイク	VP	石綿板 t=4.0 目透し張り	VP	2300			女子便所	モザイクのみ撤去 磁器モザイクは はつり部 コクリート打設し 下地調整後モザイク補修の上 ビニール床シート t=2.0	100角タイルのみ撤去の上 ビニール巾木 H=70	100角タイル H=1900のみ 撤去の上	既設モザイク VPの上 覆層塗材 E	石綿板 t=4.0 下地共撤去	2300	顔縁は SOP塗替 既設トイレ'ス 撤去の上 トイレ'ス'ポリ合板 フラスコ 新設 ビニール		
	廊下	Pタイル貼	防水モザイク H=100	モザイク	VP	モザイク	VP	ジブトーン t=9.0	2300			廊下	Pタイル撤去の上 ビニール床シート t=2.0	ソト巾木撤去の上 ビニール巾木 H=100	既設モザイク VPの上AEP塗 LGS w=65下地新設 GB t=9.5+12.5 の上 AEP塗	既設モザイク VPの上AEP塗 LGS w=65下地新設 GB t=9.5+12.5 の上 AEP塗	ジブトーン t=9.0 下地共撤去	2300	VBK'ウツ 顔縁は SOP塗替		
	倉庫	モザイク目地切	モザイク H=100	自ラント吹付	自ラント吹付	自ラント吹付						倉庫	既設のまま	既設のまま	既設のまま	既設のまま	既設のまま				

市民福祉会館改修工事 (建築工事)

設計図

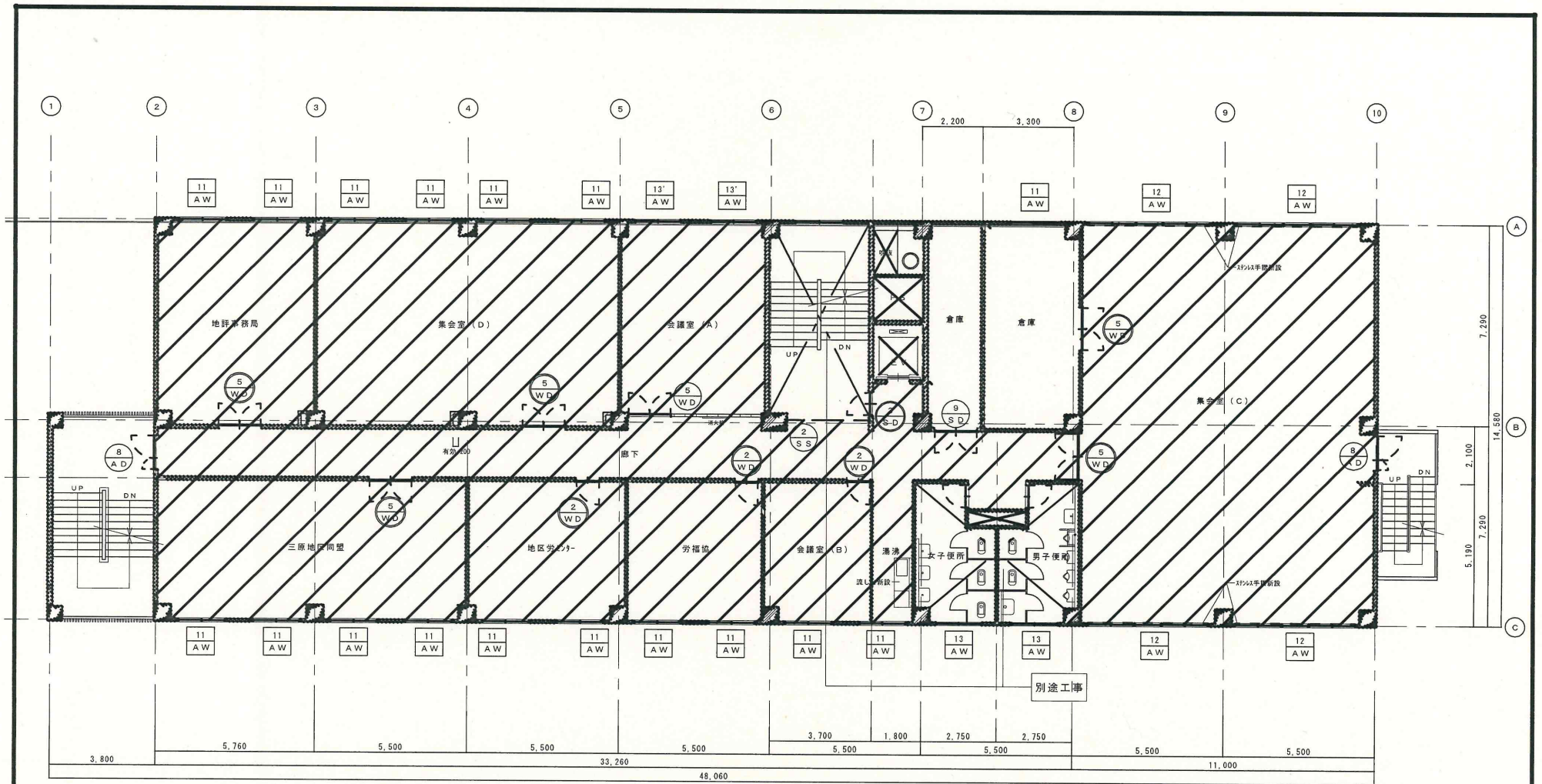
図面名称 3階内部仕上表

Date

Scale

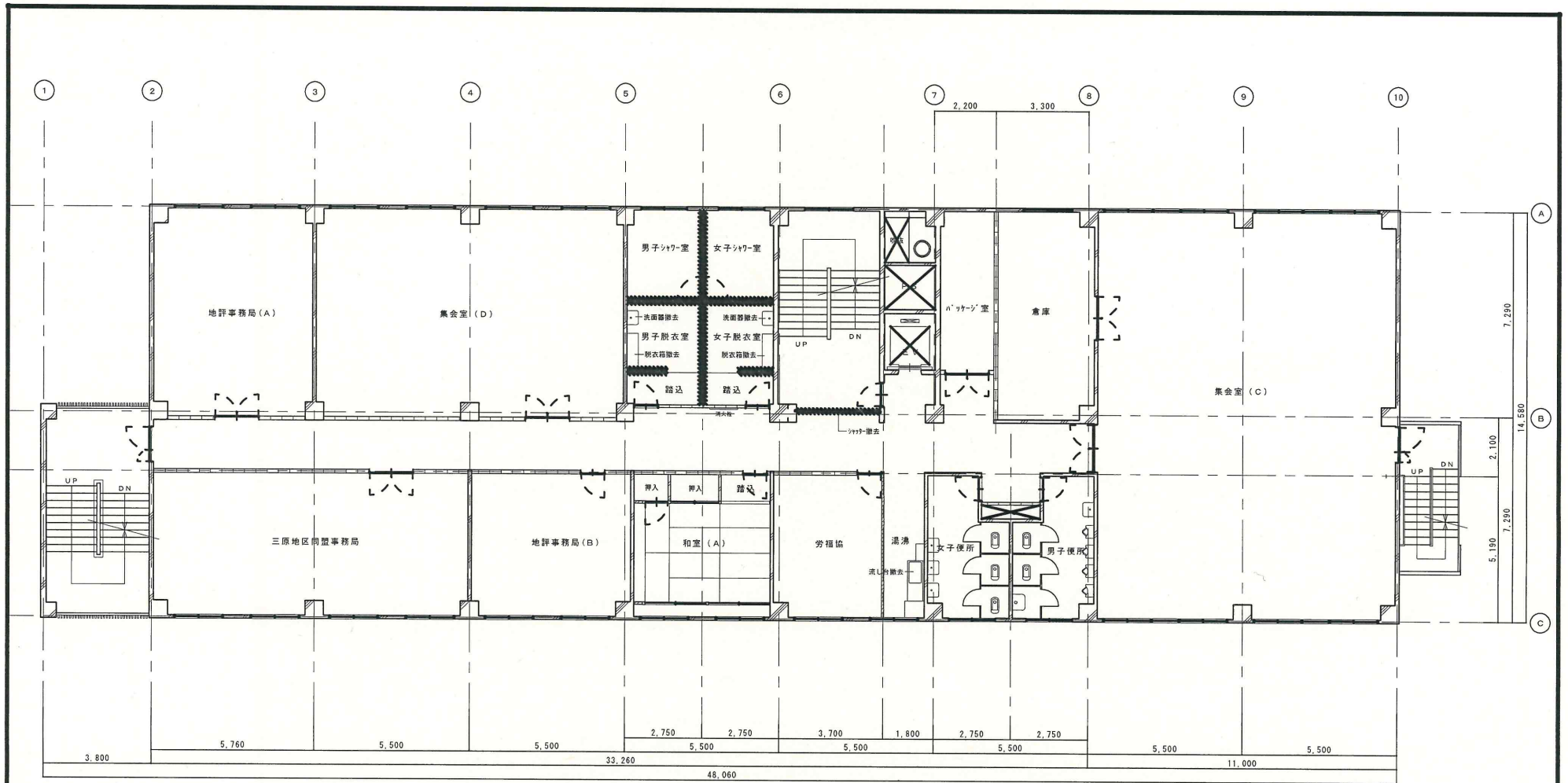
No.





- 凡例
- コンクリート壁
  - コンクリートブロック壁
  - 軽量鉄骨壁
  - 木造壁
  - 既設壁を示す
  - 改修部分
  - 既設建具を示す
  - 改修建具を示す
  - 新設建具を示す

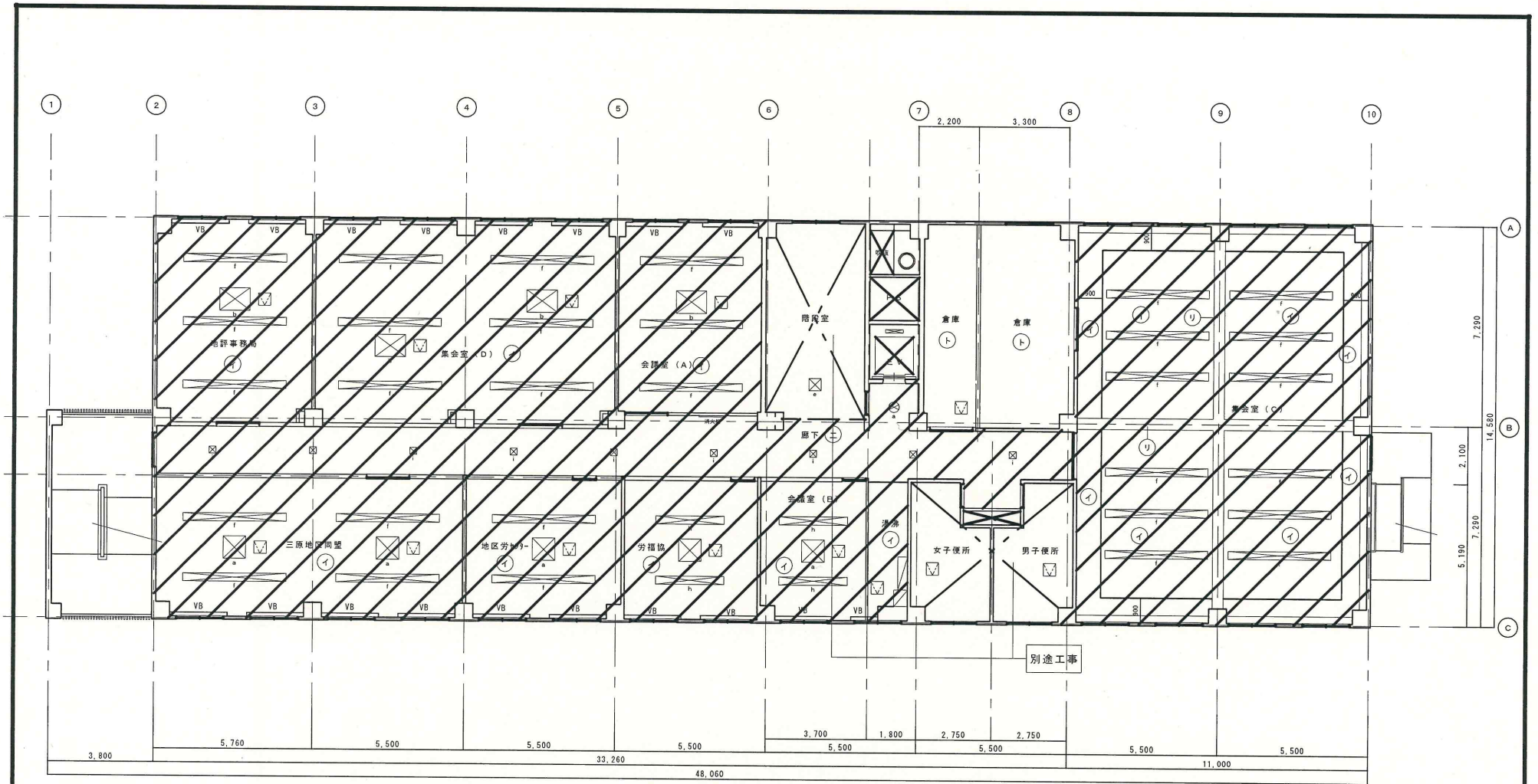
市民福祉会館改修工事（建築工事）				設計図	図面名称 3階平面図（改修後）	
Date					Scale	No.
					1/100	8



- 凡例
- コンクリート壁
  - コンクリートブロック壁
  - 軽量鉄骨壁
  - 木造壁
  - 撤去を示す

市民福祉会館改修工事（建築工事） <b>設計図</b>		図面名称 3階平面図（既設）	
		Date	Scale 1/100
		No. 9	





仕上

記号	仕上げ	記号	仕上げ
イ	LGS 下地 GB t=9.5 検張り 岩綿吸音板 t=12.0	チ	木 天井下地 ベニヤ t=4.0
ロ	既設 木天井下地 フリント*'-1' 杉貼柱	リ	既設 金網仕上りの上 700x700t=25 (ABC協会) 同等品 3-ナ部742部材使用
ハ	LGS 下地 ケイ酸板 t=5.0 VP塗		
ニ	LGS 下地 化粧石膏*'-1' t=9.5		
ホ	LGS 下地 GB t=9.5 下地 t'-h70x		
ヘ	既設 既設 VPの上 AEP塗	VB	7'5x10'6'x120
ト	既設のまま	▽	天井点検口 450□

天井開口補強リスト

記号	記号		
ア	820×820	ハ	300×2500
イ	820×1110	ヒ	250×250
ロ	300×1250	ヘ	220×10060
ニ	200×1250	ホ	220×6650
ハ	450×450		
ヘ	300×3750		
ト	640×1380	チ	225φ

凡例

改修部分

市民福祉会館改修工事（建築工事）

設計図

図面名称

3階天井伏図（改修後）

Scale

1/100

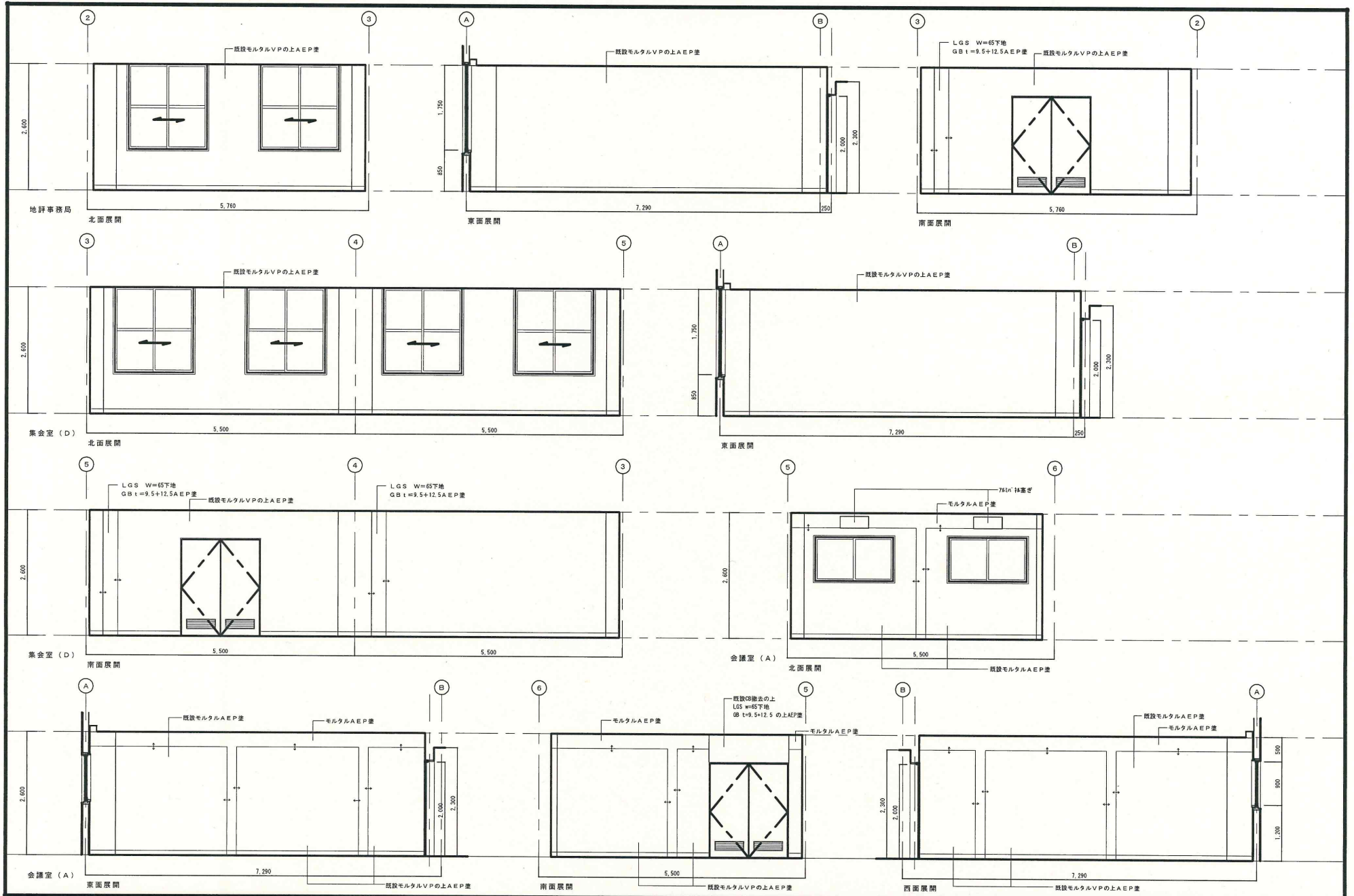
No.

10

符号	名称	② S S	防火防煙シャッター (甲種)	① W D	木製片開き戸	⑤ W D	木製両開き戸	④ S D	鋼製片開き扉 (防火戸)	⑧ A D	アルミ製親子ドア	③ S D	鋼製両開き扉
形状	寸法												
場所	数量	階段室	1	便所	2	会議室 (A)	1	P S	1	階段	2	倉庫	1
材質	仕上	ステンール	S O P	木製	木製	木製	木製	ステンール	S O P	アルミ	アルミ	ステンール	S O P
ガラス	見込 (ア)			F-4.0	40		40		100	P-5.0	70		100
乾摺の材質及び形状													
金 具													
② S S: ① W D: ⑤ W D: ④ S D: ⑧ A D: ③ S D:													
符号	名称	② W D	木製片開き戸	⑤ W D	木製両開き戸	③ S D	鋼製片開き扉 (防火戸)	⑧ S D	鋼製両開き格子扉				
形状	寸法	改修内容一枠 SOP塗替 建具新設		改修内容一枠 SOP塗替 建具新設		改修内容一枠、建具共 SOP塗替		改修内容一枠、建具共 SOP塗替					
場所	数量	会議室	5	集會室	5	階段室	1	倉庫	1				
材質	仕上	木製	木製	木製	木製	ステンール	OPの上SOP	ステンール	OPの上SOP				
ガラス	見込 (ア)		40		40		100		100				
乾摺の材質及び形状													
金 具													
符号	名称	⑪ A W	アルミ製引き違い窓	⑫ A W	アルミ製引き違い窓	⑬ A W	アルミ製引き違い窓	⑭ A W	アルミ製引き違い窓				
形状	寸法	改修内容一枠 SOP塗替 建具新設		改修内容一枠 SOP塗替 建具新設		改修内容一枠、建具共 SOP塗替		改修内容一枠、建具共 SOP塗替					
場所	数量	ふれあいフロアー	17	集會室	4	便所	2	会議室	2				
材質	仕上	アルミ	アルミ	アルミ	アルミ	アルミ	アルミ	アルミ	アルミ				
ガラス	見込 (ア)	FL-3.0, 北側-型-4.0	70	FL-3.5, 北側-型-4.0	70	型-4.0	70	型-4.0	70				
乾摺の材質及び形状													
金 具													
クレセント、引手													

一般事項	1. 建具の符号と種類				2. ガラスの符号と種類				3. 乾摺の材質及び形状				4. 特記事項			
	符号	種類	符号	種類	符号	種類	符号	種類	符号	材質	形状	1. 扉玉の高さ FL+( )mm 2. マスターキー 要・不要 3. ガラスシールは、(防火ビード又は一般ビード)とする。 4. シリンダー錠のバックセットは( )mm 5. 鍵収納箱 要・不要 6. メーカー指定 有・無 7. アミ戸の網・サランネット・ステンレスネット				
1. 各建具寸法は、全て枠内法を示す。	S T D	ステンレス製扉	S T S	ステンレス製シャッター	S	透明ガラス	P W	網(線)入層ガラス (L)	S	ステンール	1	目地挿 建具枠幅				
2. 本表には、造作家具の建具は含まない。	S D	ステンール製扉	S S	ステンール製シャッター	P	度ガラス	F W	網(線)入型ガラス (L)	S T	ステンレス	2					なし
3. ドアの開閉方向は、平面図による。	A D	アルミ製扉	S T G	ステンレス製ガラリ	F	型ガラス	H P	熱線吸収ガラス	T B	アルミ	3	目地挿 建具枠幅				
○ — 新設建具を示す	W D	木製扉	S G	ステンール製ガラリ	FL	フロートガラス	H F W	網線入熱線吸収ガラス	A B	テラゾーブロック	4					目地挿 建具枠幅
○ — 改修建具を示す	T D	強化ガラス扉	A G	アルミ製ガラリ	TP	強化ガラス	H R S	熱線反射ガラス(シルバー)	M	モルタル	5	目地挿 建具枠幅				
□ — 既設建具を示す	S T W	ステンレス製窓	W G	木製ガラリ	L	合わせガラス	H R B	熱線反射ガラス(グリーン)	W	木						目地挿 建具枠幅
	S W	ステンール製窓	F	機	D	複層ガラス			B	ブロンズ		目地挿 建具枠幅				
	A W	アルミ製窓	F D	戸襖												目地挿 建具枠幅
	W W	木製窓	S	紙障子								目地挿 建具枠幅				





市民福祉会館改修工事（建築工事） 設計図

Date

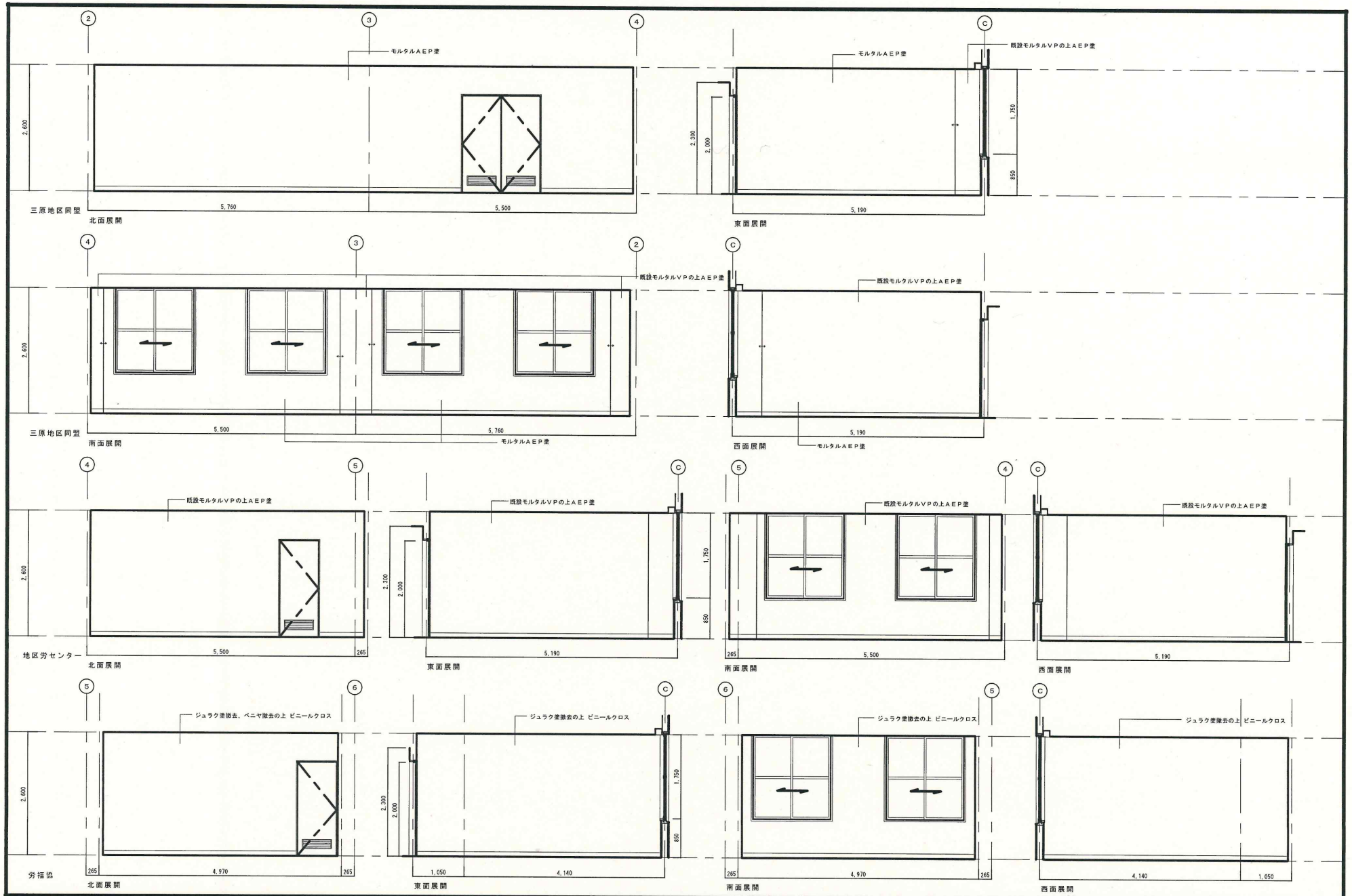
図面名称  
展開図 (3F-1) (改修後)

Scale

1/50

No.

12



市民福祉会館改修工事（建築工事）

設計図

図面名称  
展開図（3F-2）（改修後）

Date

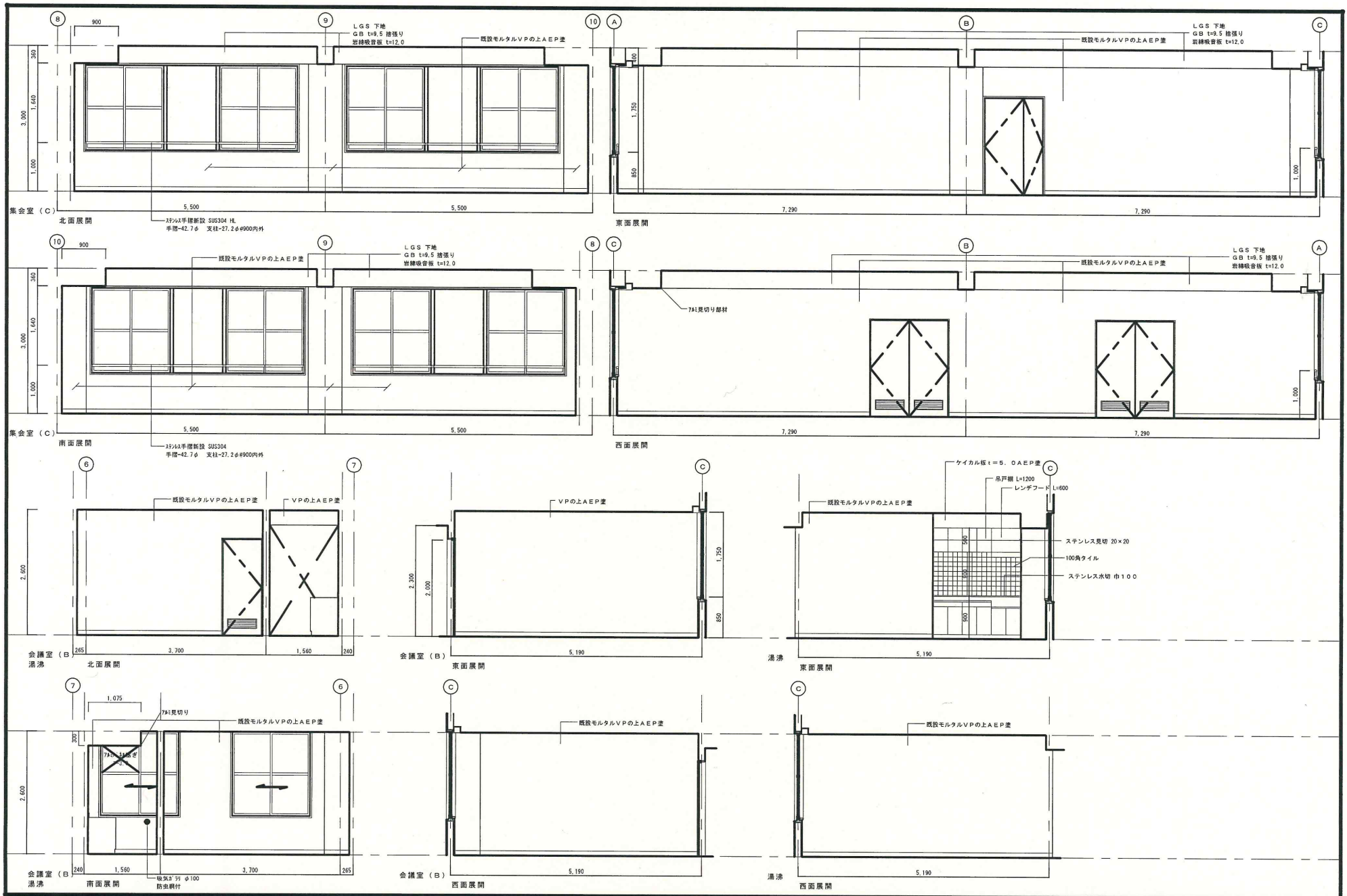
Scale

1/50

No.

13





市民福祉会館改修工事（建築工事）

設計図

Date

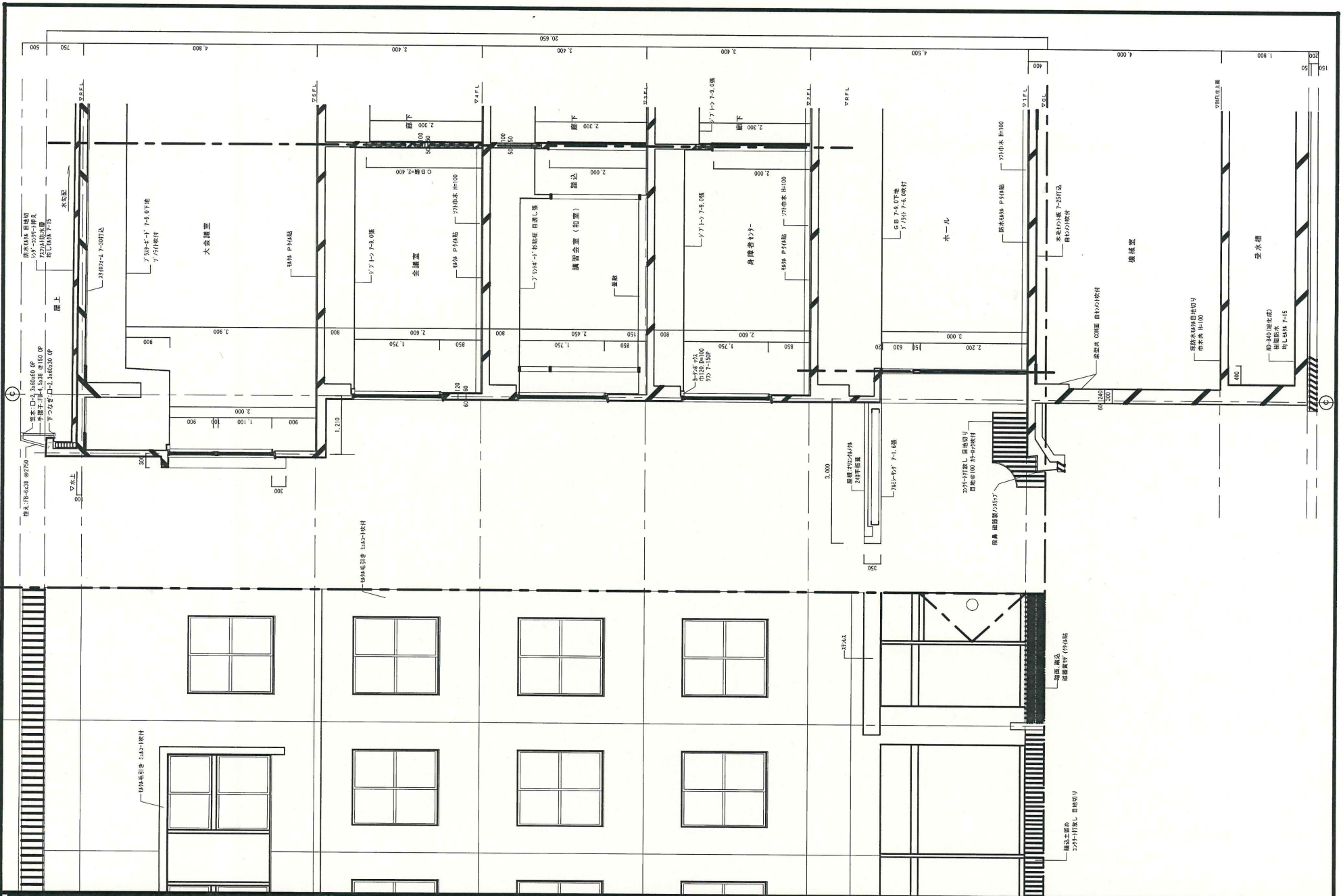
図面名称  
展開図 (3F-3) (改修後)

Scale

1/50

No.

14



市民福祉会館改修工事（建築工事） 設計図

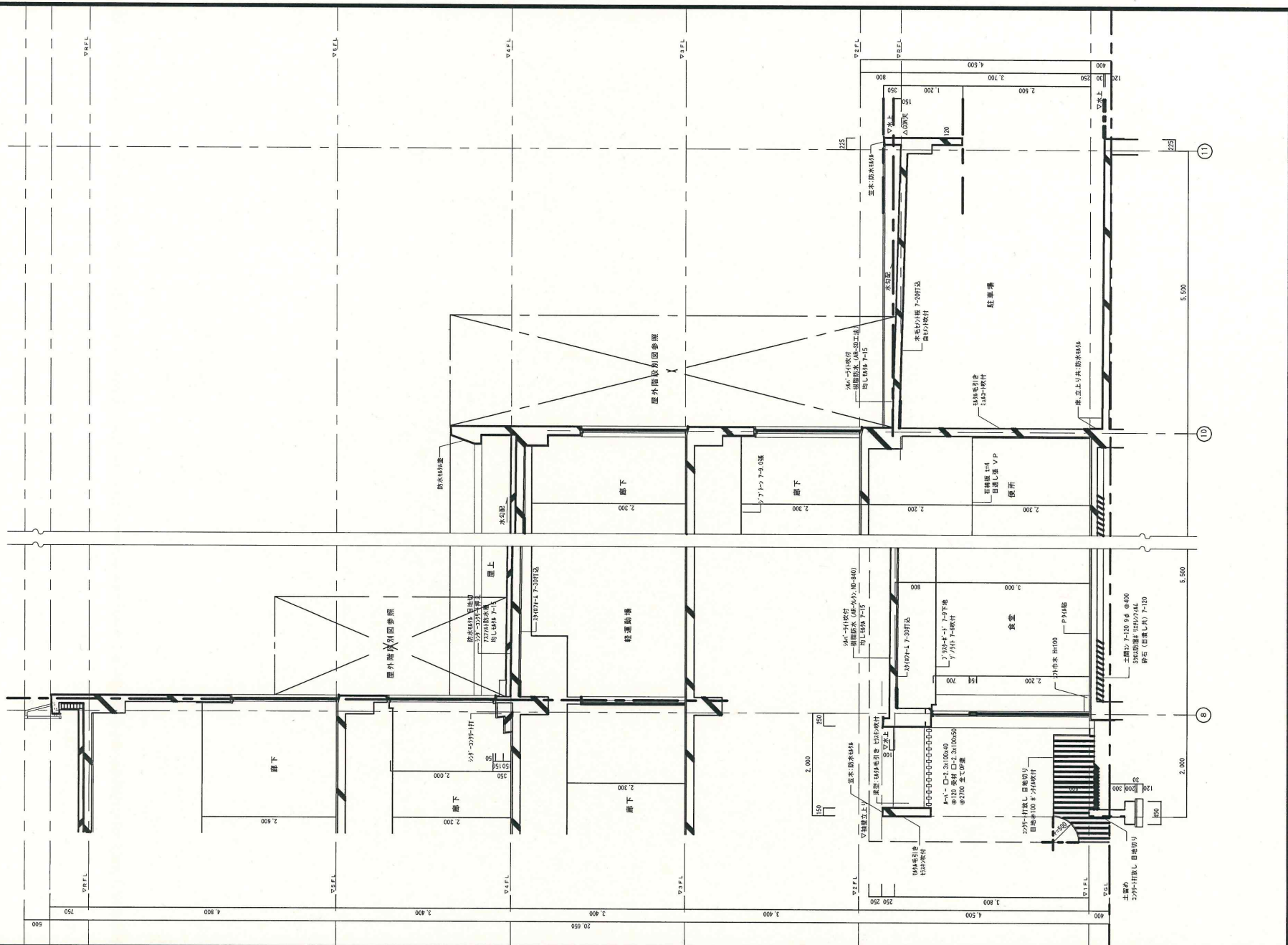
Date

図面名称 矩計図(1)【参考図】

1/50

No.





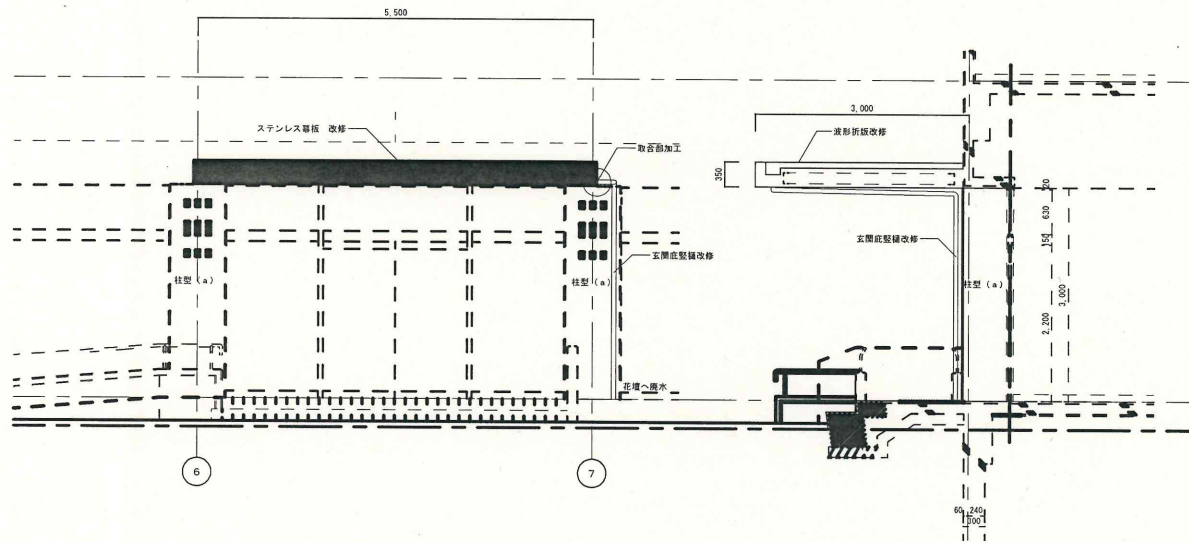
市民福祉会館改修工事（建築工事） 設計図

Date

特図名 矩計図(2)〔参考図〕

Scale 1/50

No.



立面図 1/50

此断面図 1/50

- 工事内容
- 波形折板張替 H:35
  - ステンレス扉板 改修  
W100 x H50 x t2.0 (片流れ)
  - ステンレス扉板 改修
  - 扉板 改修 VU管φ60 VP塗
  - \* 改修は既設撤去後 取付補修の上新設する事

市民福祉会館改修 工事設計図

Date

図面名称

雑詳細図

Scale

1/50

No.